

磐越自動車道
小松地区舗装工事

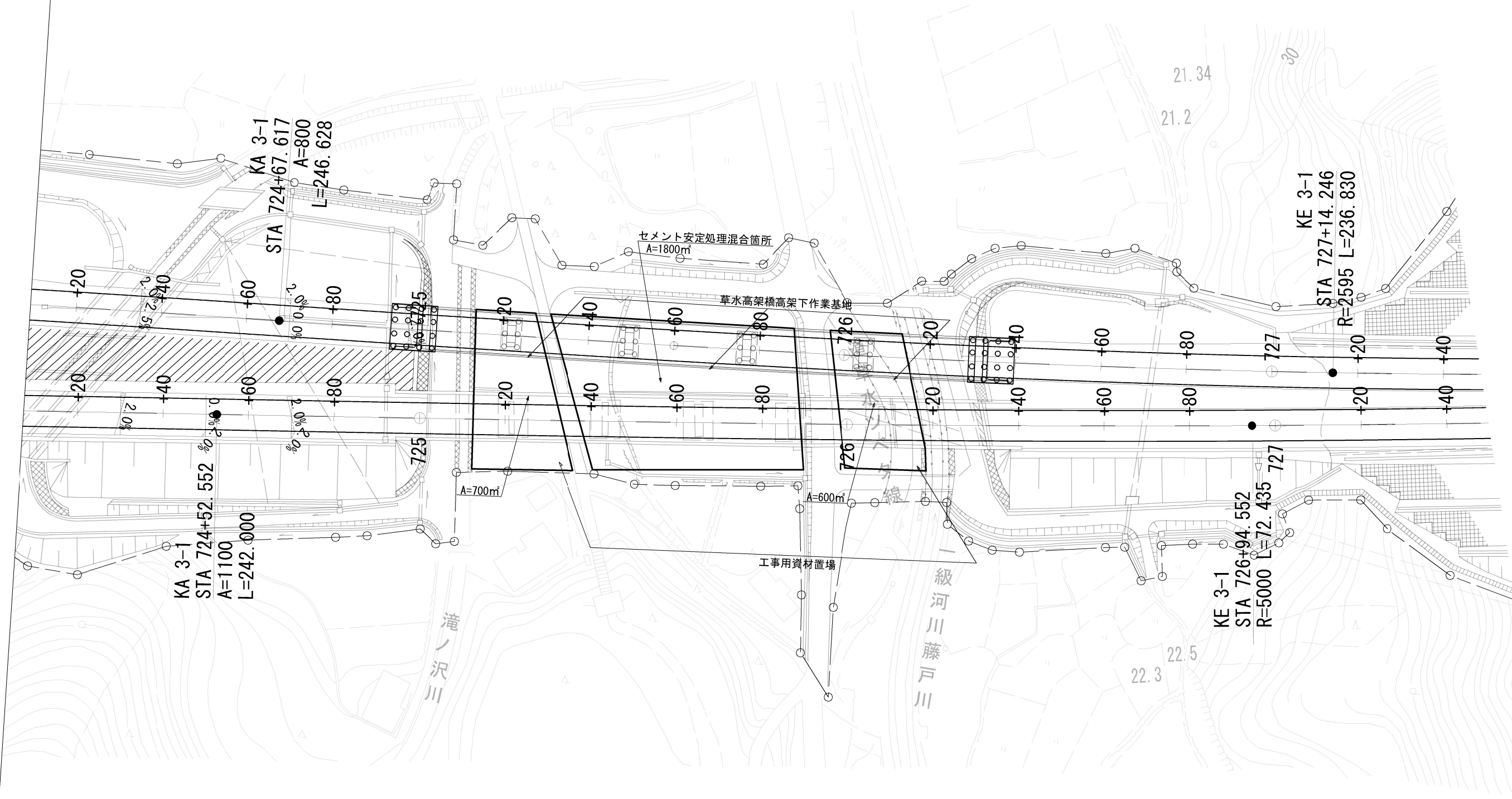
参 考 図

令和8年2月

東日本高速道路株式会社 新潟支社
新 潟 工 事 事 務 所

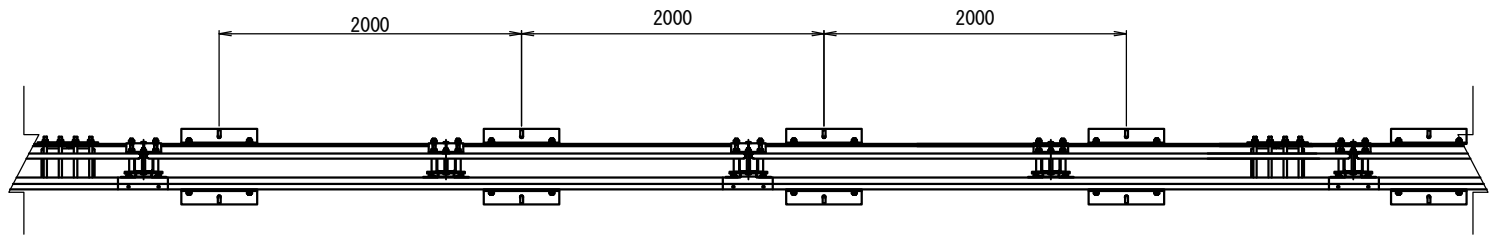
目 次

[illegible]

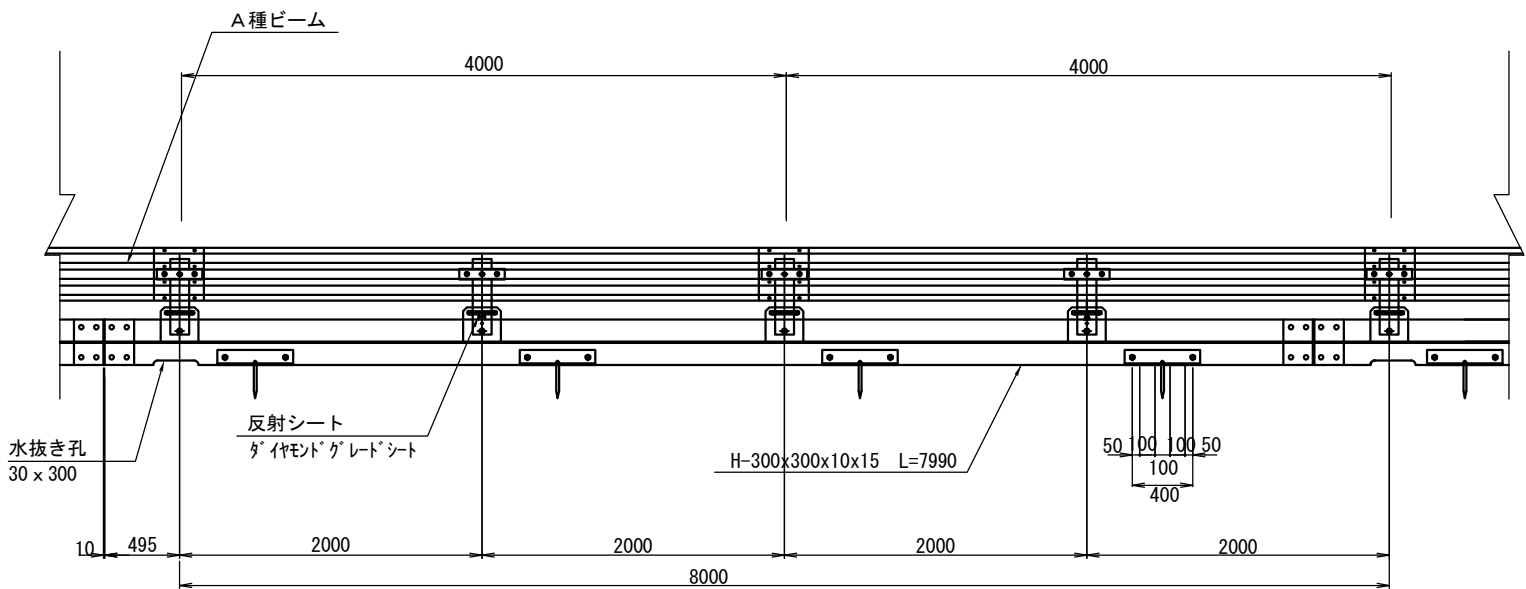


磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	草水高架橋高架下作業基地利用計画図		
縮尺		図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

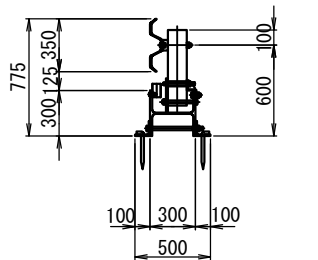
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50



断面図 S=1:20

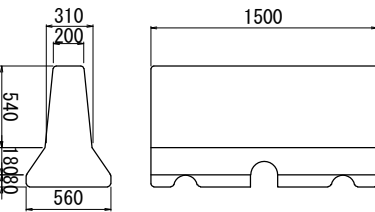


※撤去時の穴埋めとして
無収縮モルタルを注入

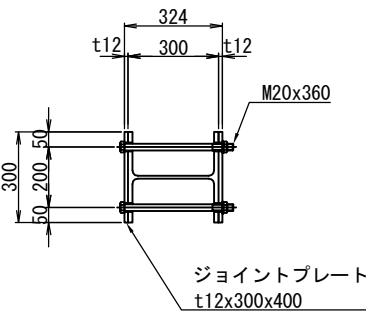
仮設防護柵 (H鋼基礎式) (8m当り)

名 称	部 材	数 量	単 位	摘 要
ガードレール	G r-A-2 B	2	枚	
ガードレール支柱	□125x125x4.5x500	4	本	
ガードレールブラケット	t 6 x 70 x 300	4	個	
ブラケット取付ボルト	M20x160	4	本	
ビーム継合用ボルト	M16x35	24	本	
H型鋼	H300x300x10x15x7990	1	本	
ジョイントプレート	t12x300x400	2	本	
ジョイント用ボルト	M20x360	8	本	
ポストベースプレート	t12x225x250	4	枚	
ポスト固定プレート	t6x230x125x57	4	枚	
ポスト固定ボルト	M20x190x160x190	4	本	
ポスト固定プレート取付ボルト	M20x50	8	本	
ポスト主軸ボルト	M20x220	4	本	
アンカー用アングル	t10x100x100x500	8	本	
アングル取付ボルト	M20x360	8	本	
アンカーピン	φ 19x250x50	8	本	
反射シート		2	枚	
無収縮モルタル		0.1	m ³	

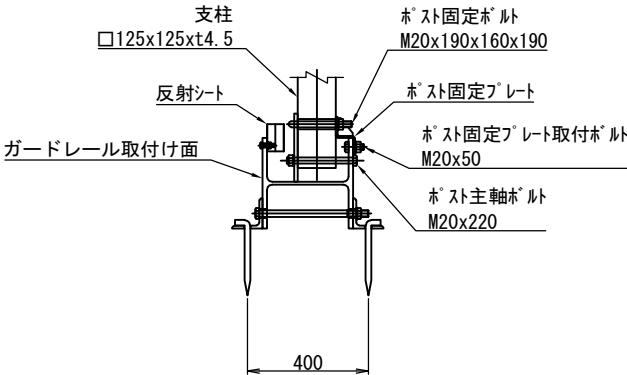
ポリエチレン製・水充填式
S=1:50



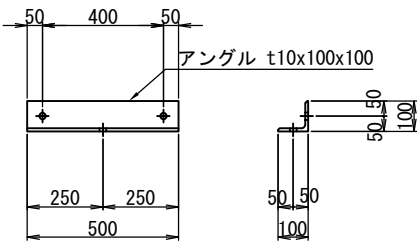
ジョイント部詳細図 S=1:25



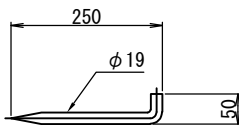
支柱取付部詳細図 S=1:25



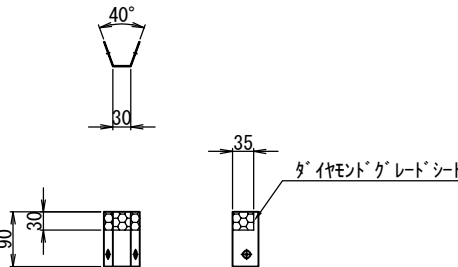
アンカー用アングル S=1:12.5



アンカーピン詳細図 S=1:12.5



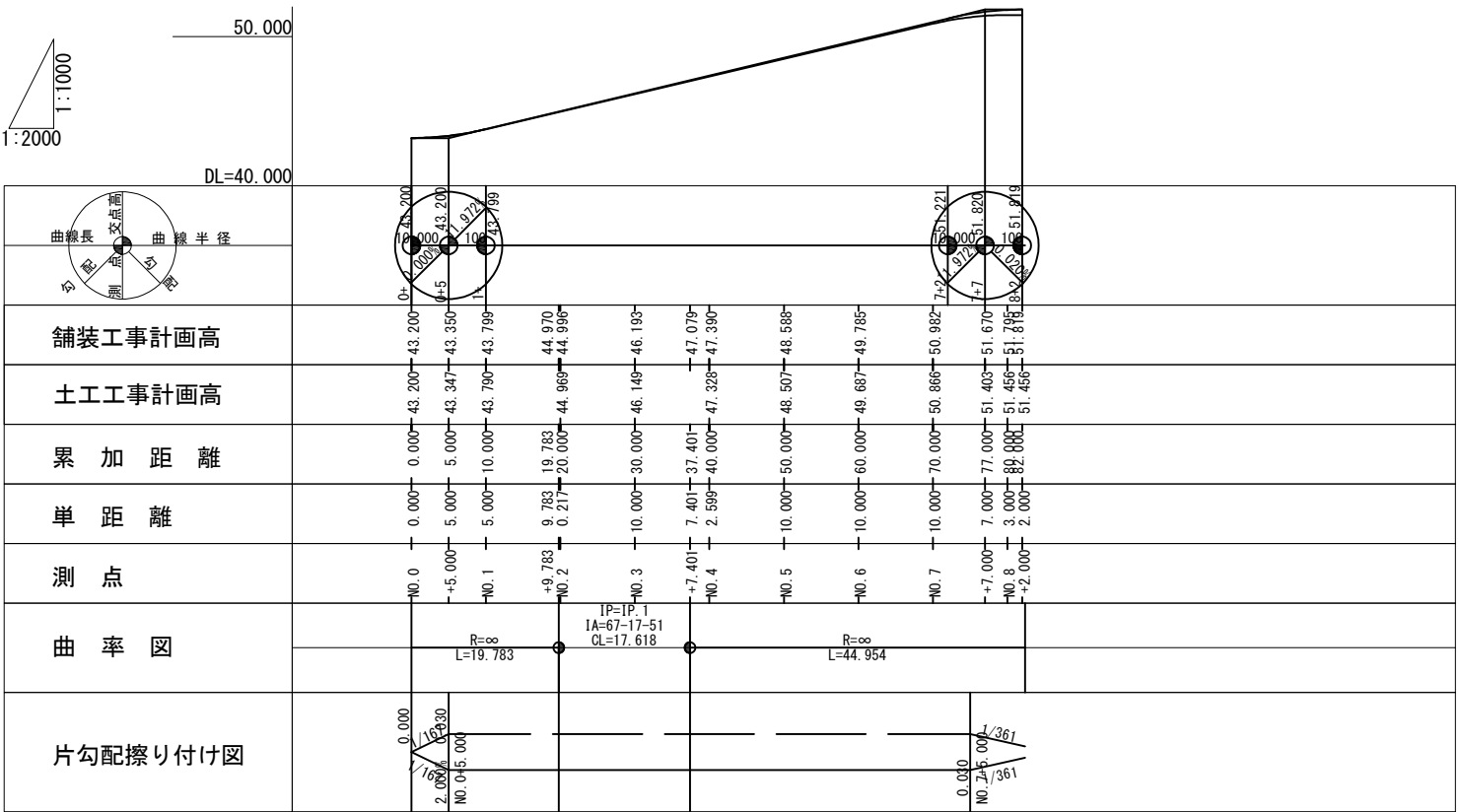
反射シート S=1:12.5



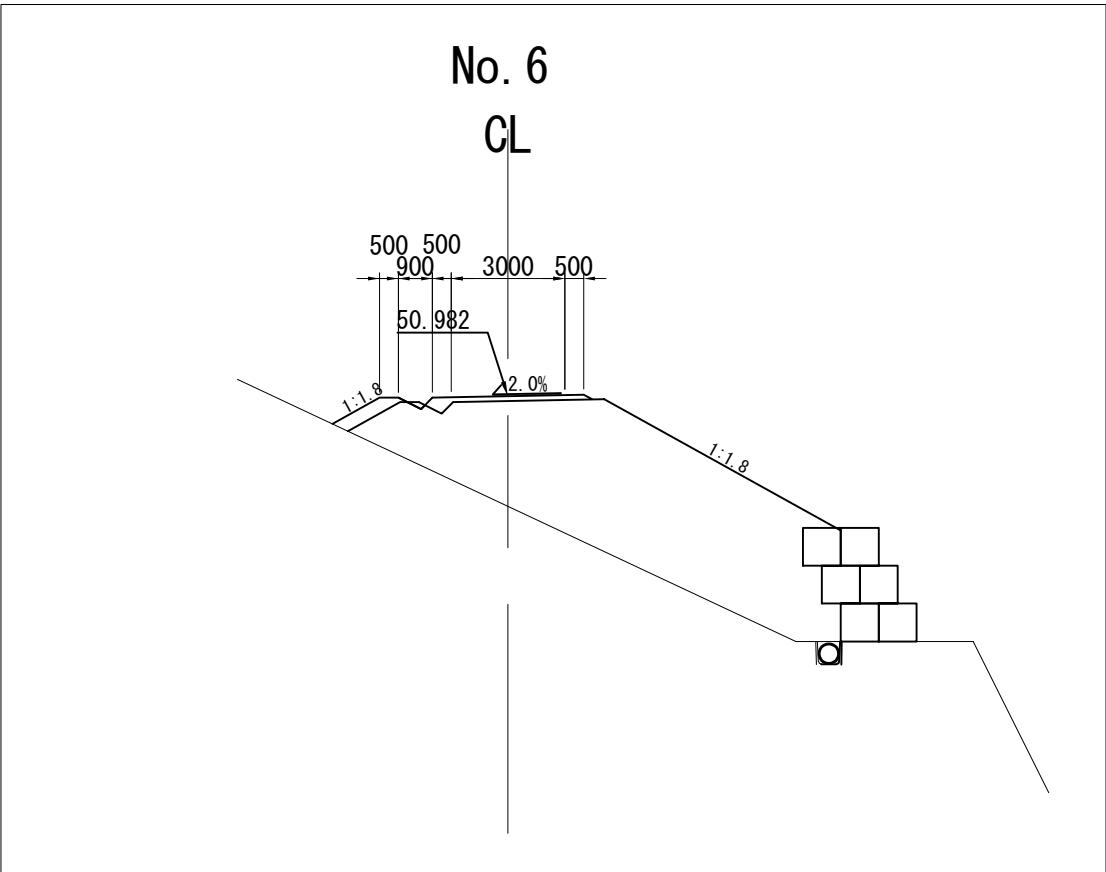
工事名	磐越自動車道 小松地区舗装工事		
図面の種類	仮設防護柵工詳細図		
縮尺	図 示	図面番号	／
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟 工 事 事 務 所		

工事用進入路詳細図(1)
工事用進入路A

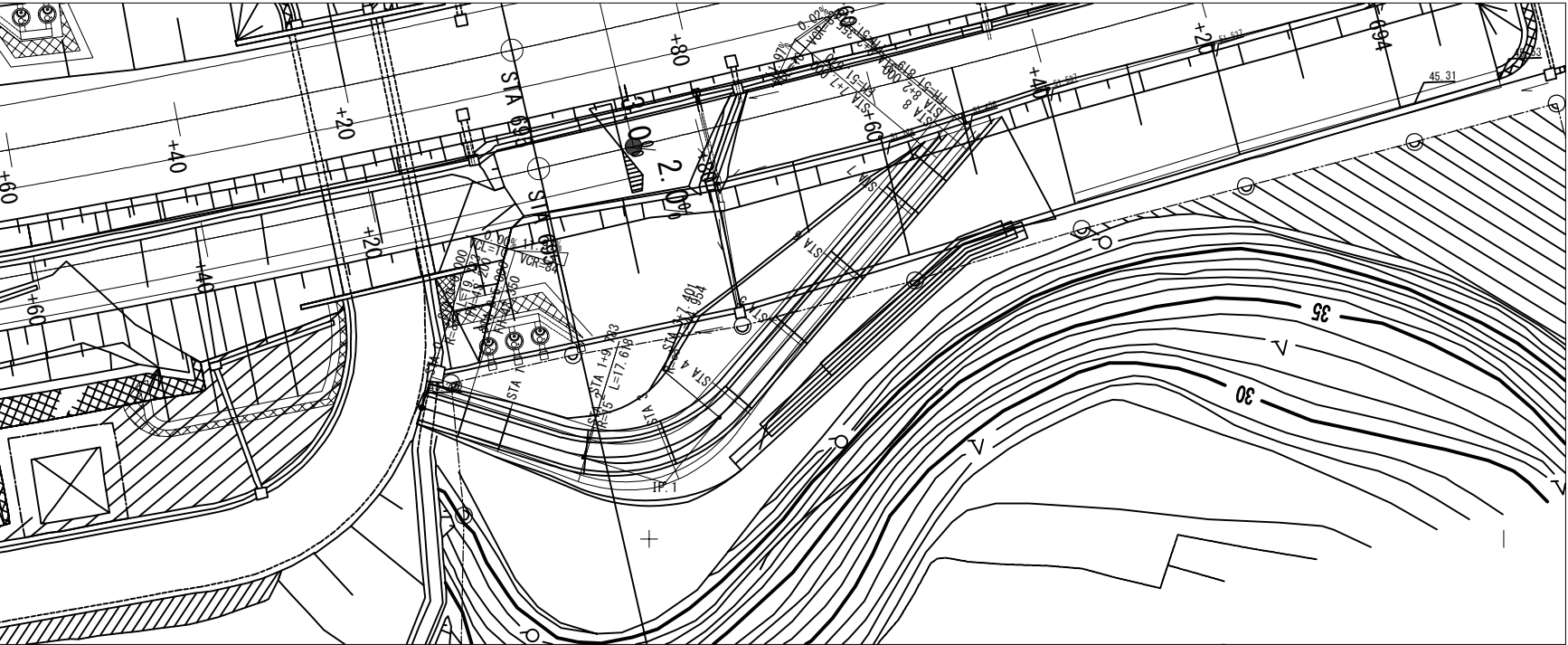
縦断面図 縮尺 V:1:1000
H:1:2000



標準断面図 縮尺 1:200

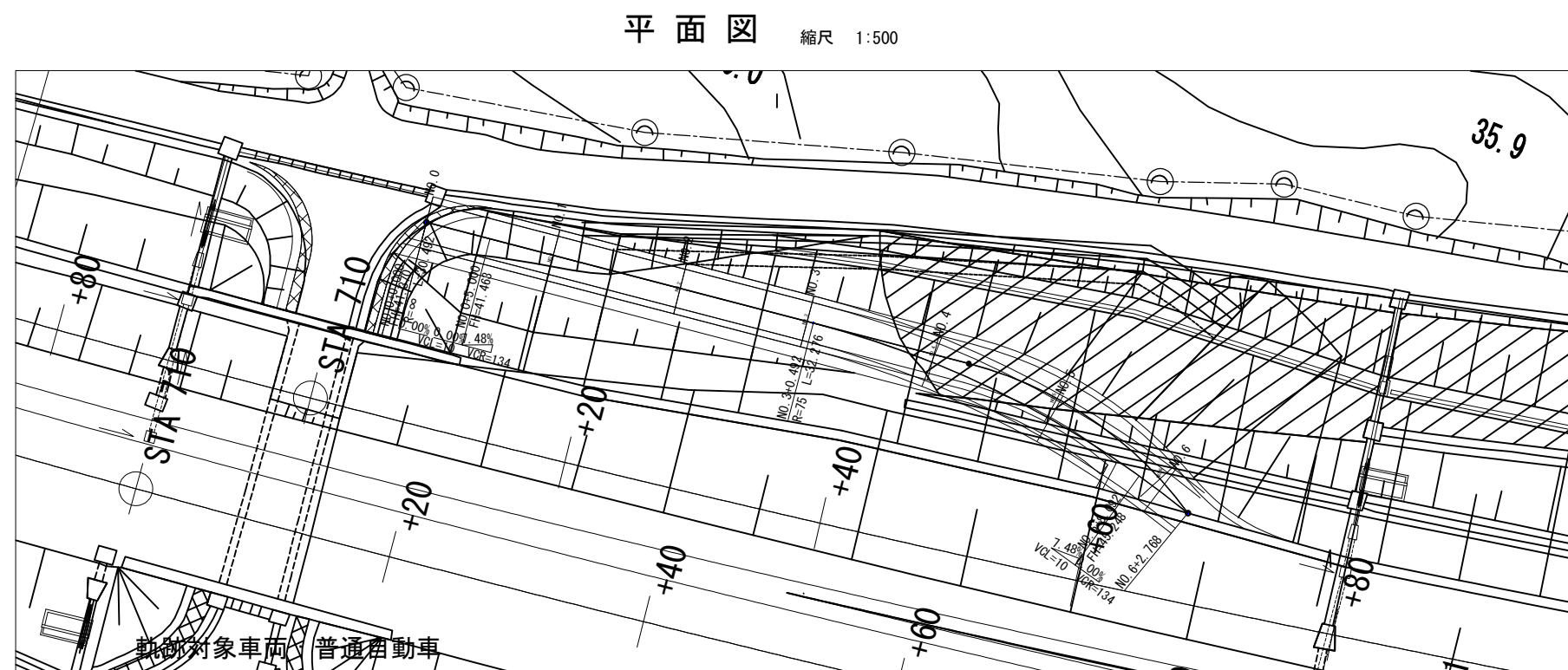
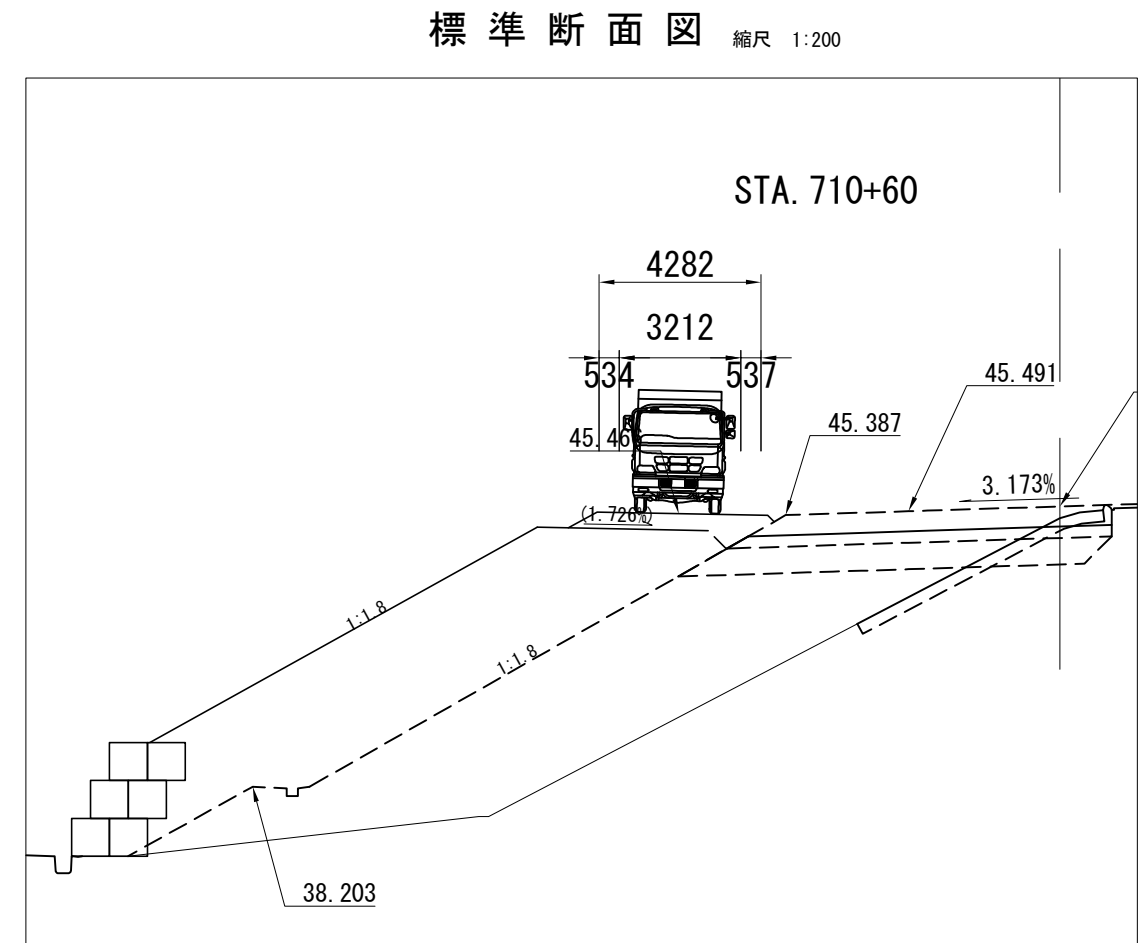
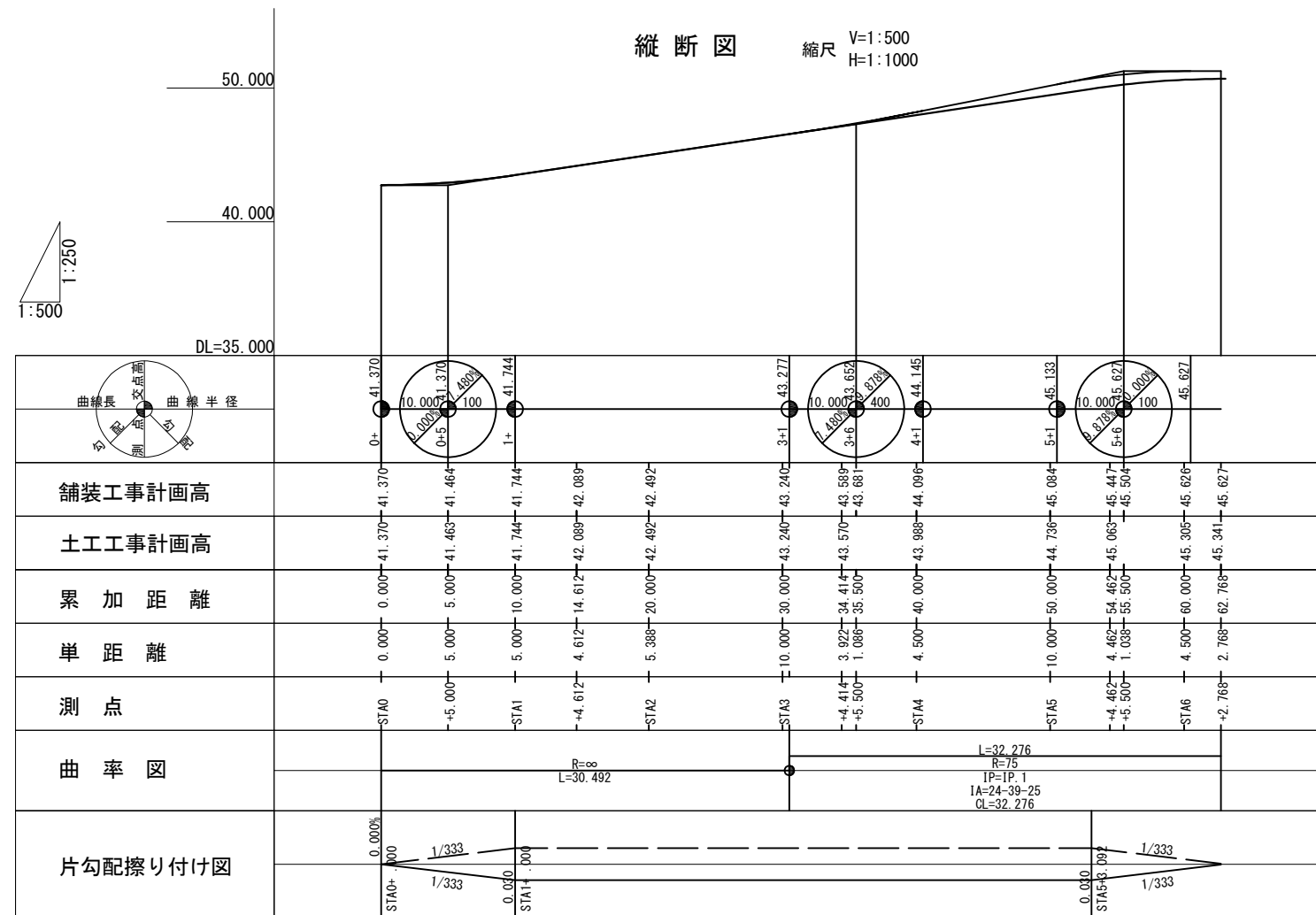


平面図 縮尺 1:1250



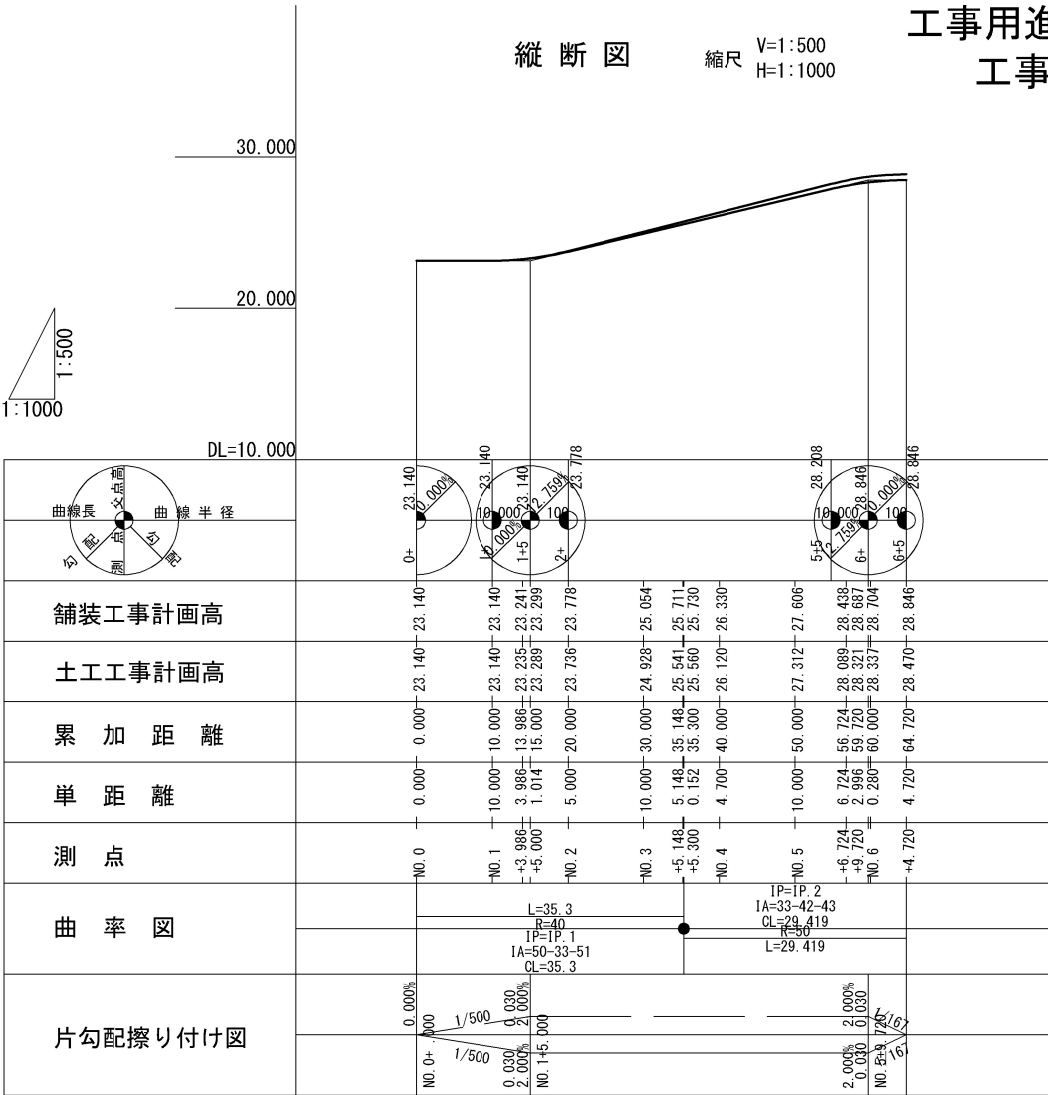
磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	工事用進入路詳細図(1)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

工事用進入路詳細図(2)
工事用進入路B

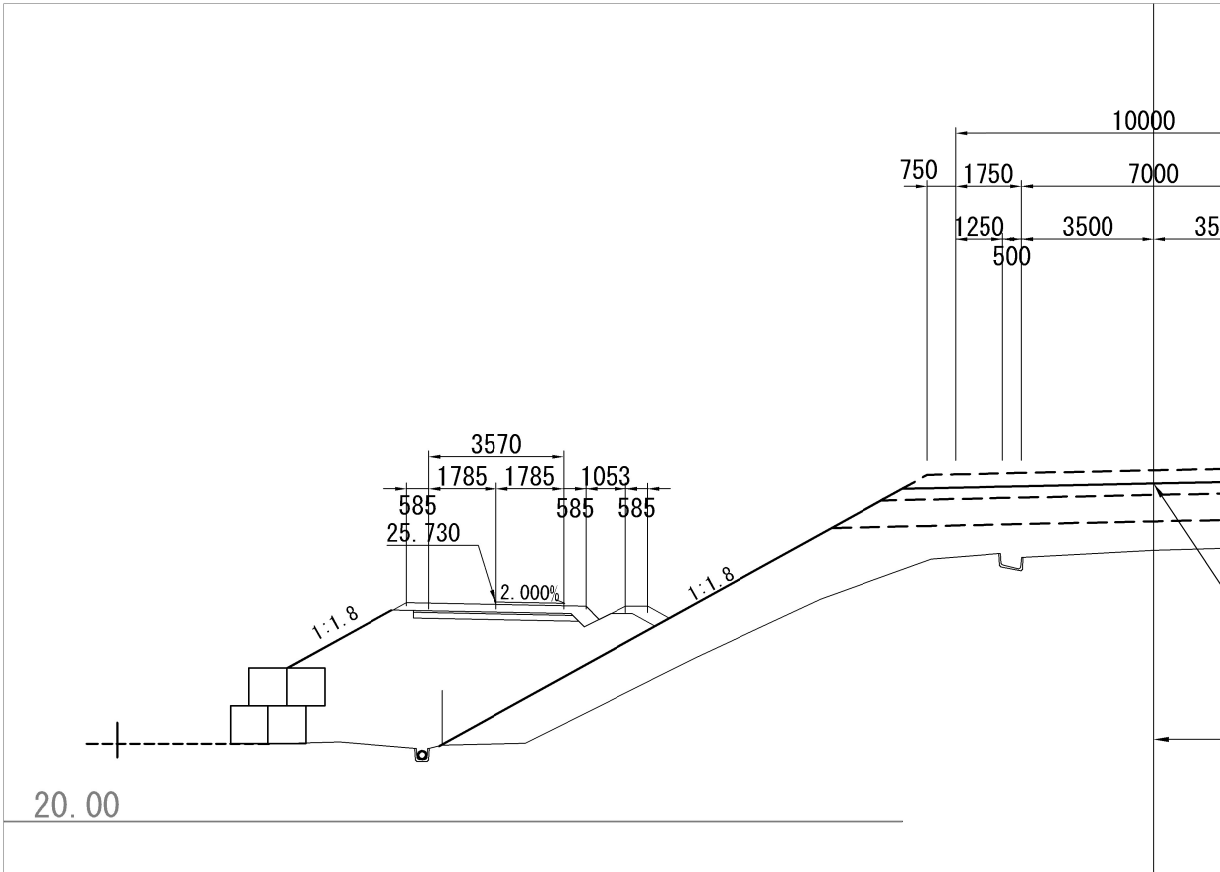


磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	工事用進入路詳細図(2)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

工事用進入路詳細図(3)
工事用進入路C



標準断面図 縮尺 1:200



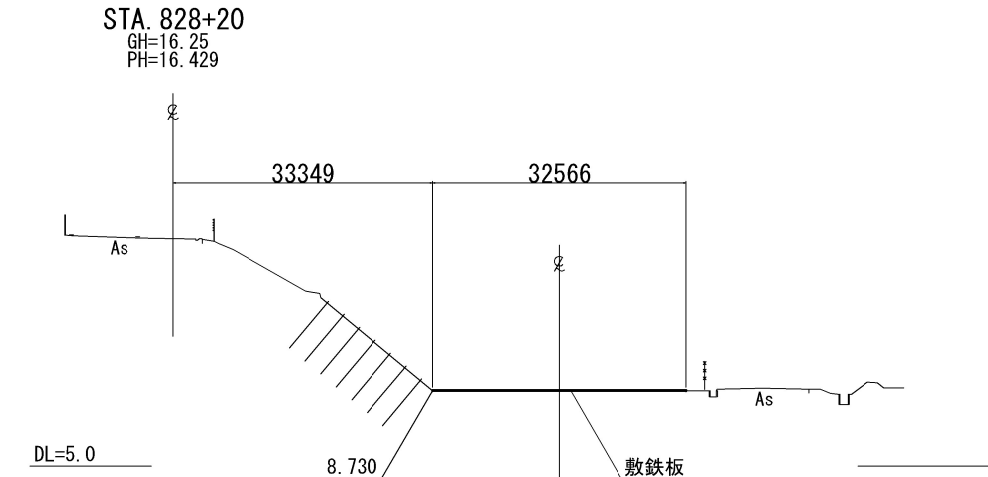
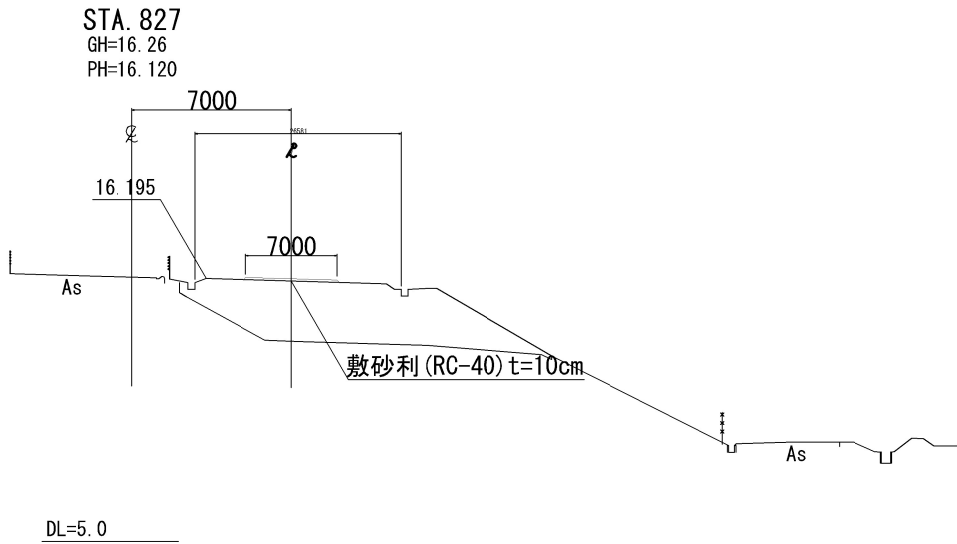
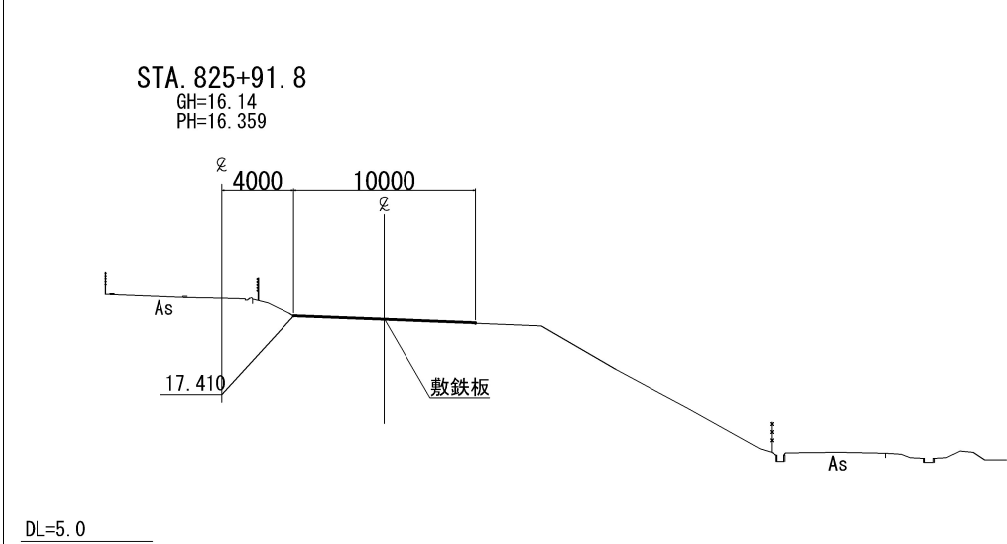
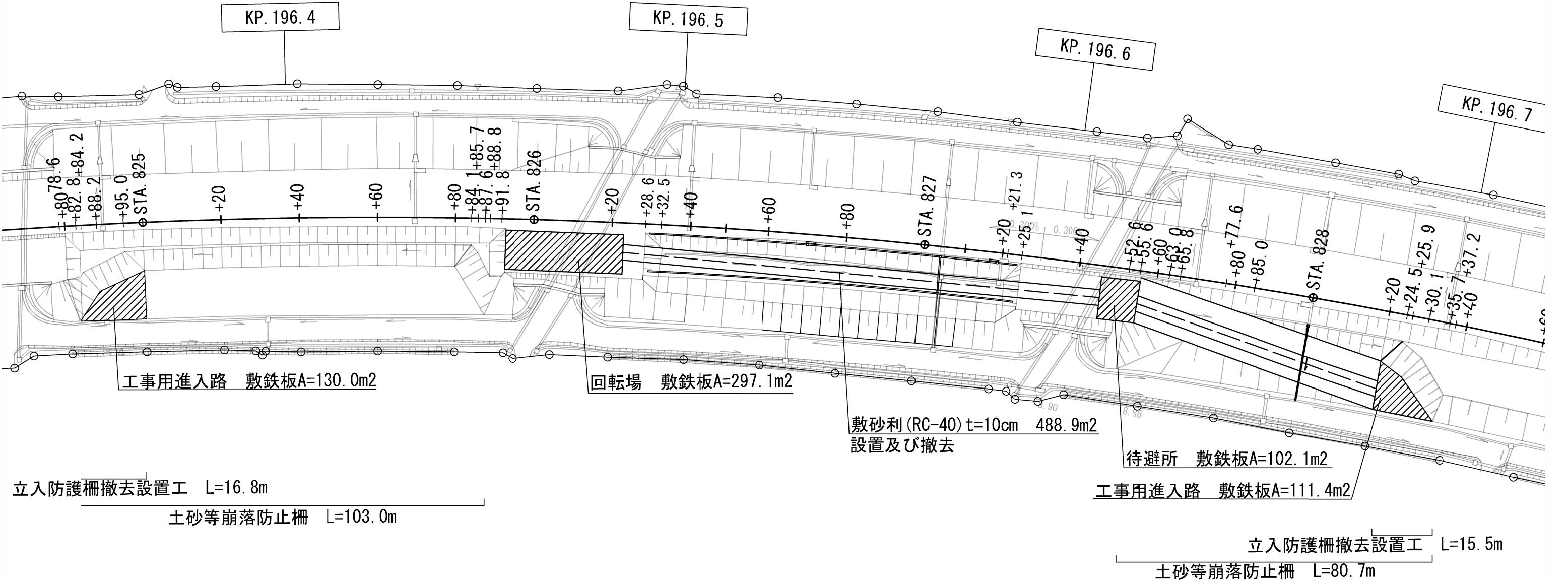
平面图 縮尺 1:1250



磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	工事用進入路詳細図 (3)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟工事事務所	新潟支社	

工事用進入路詳細図(4)

工事用進入路D

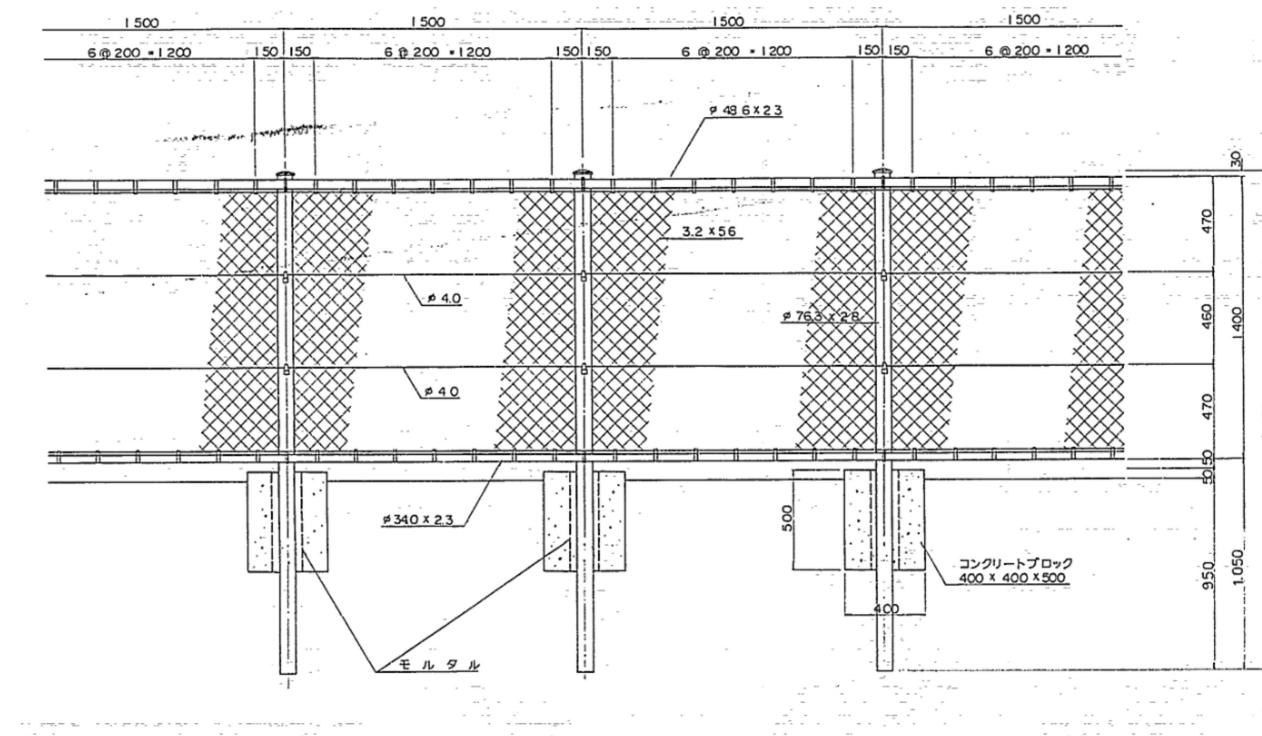


磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	工事用進入路詳細図(4)		
縮尺	1:1000	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

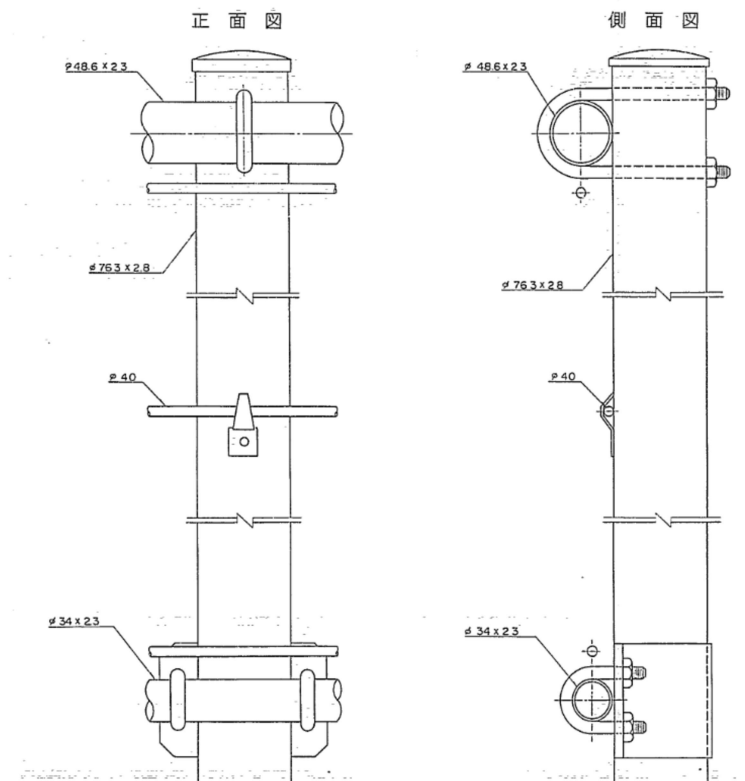
立入防止柵詳細図

立入防止柵撤去設置工

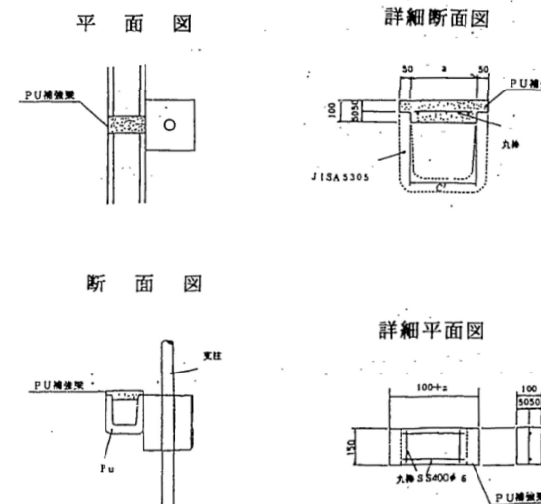
FENCE (CG)



支柱詳細図



PU補強梁詳細図



CG型断面係数

项 目	断面係数 Z	備 考
支柱 $\phi 76.3 \times 2.8$	11.5 cm ³	
鋼線 $\phi 48.6 \times 2.3$	3.7 cm ³	
鋼線 $\phi 34 \times 2.3$	1.7 cm ³	

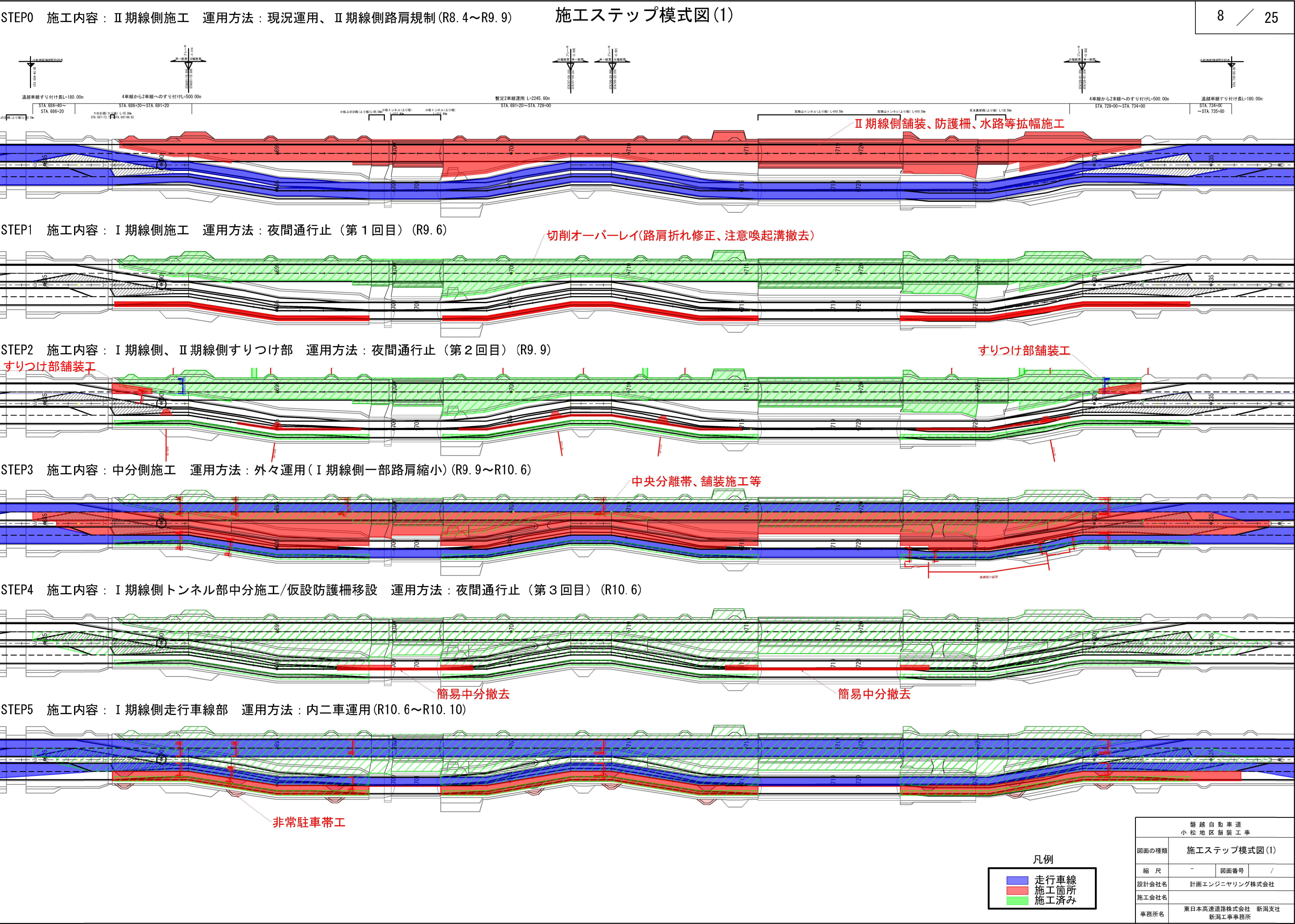
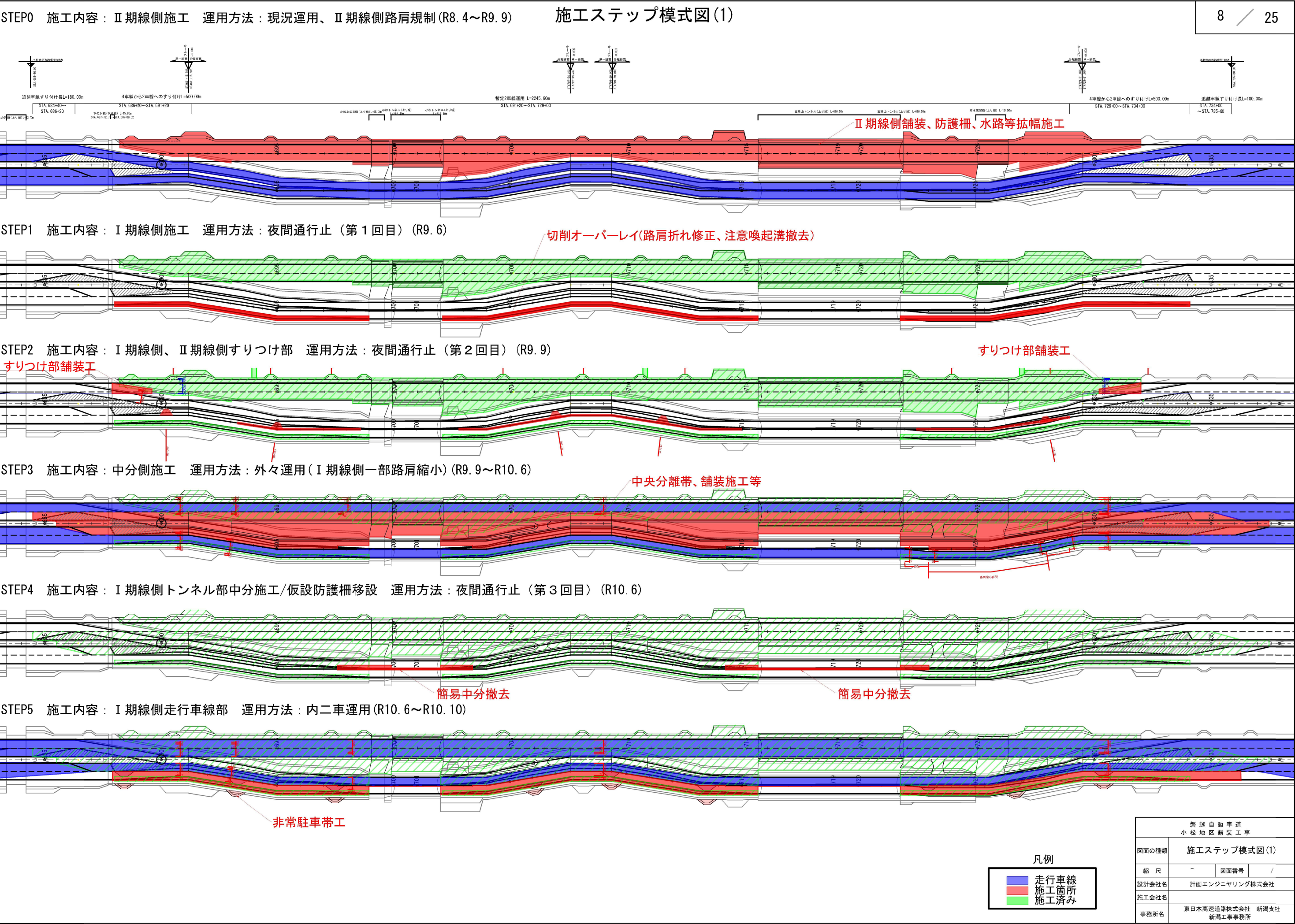
補強梁數表

項目	コンクリート	型	種	数	1枚当り
規格	C1-1	D		φ 6mm	
単位	m ²	m ²		m	
Pu 0.30-0.30	0.00522	0.159	0.164		

(單位 $m \cdot m$)

TYPE	a	C
Pu 0.30, 0.30	300	29
0.36, 0.36	360	35
0.45, 0.45	450	44
0.60, 0.60	600	59

<p style="text-align: center;"> 磐越自動車道 小松地区舗装工事 </p>			
図面の種類	<p style="text-align: center;"> 立入防止柵詳細図 </p>		
縮 尺	<p style="text-align: center;">—</p>	図面番号	<p style="text-align: center;">/</p>
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	<p style="text-align: center;"> 東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所 </p>		



[illegible]

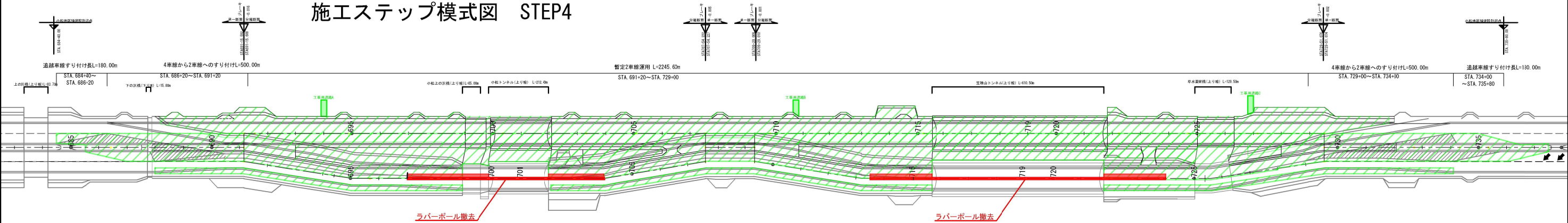
項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量
道路掘削 土砂 A1	m3	511	セメント安定処理路盤工 下層路盤(t=16cm)	m2	53	連続鉄筋コンクリート舗装版A	m2	53	標識柱	基	64	防草シート工	m	2,910
盛土工 C	m3	323	セメント安定処理路盤工 下層路盤(t=20cm)	m2	128	連続鉄筋コンクリート舗装版B	m2	6,865	標識板	m2	34	標識サポート	基	4
用排水溝	m	3,081	セメントコンクリート舗装路盤 (t=20cm)	m2	7,042	版端部(t=21cm)	m2	170	視線誘導標	基	260	スノーボール工	基	46
集水ます	箇所	107	加熱アスファルト安定処理路盤工	t	7,229	枕版(t=25cm)	m2	24	距離標	枚	65	階段工	m	271
油水分離ます	箇所	6	アスファルトコンクリート遮水性基層工	t	3,919	すりつけ版(t=15~16cm)	m2	126	縁石工	m	2,945	標識落下防止対策工A	基	1
粒状路盤工 下層路盤(t=10cm)	m2	6,786	アスファルトコンクリート橋梁レベリング層工(FB13)	t	187	床版防水工 A	m2	2,037	踏掛版工	m2	289	路面切削工	m2	627
粒状路盤工 上層路盤(t=15cm)	m2	7,720	アスファルトコンクリート中間層工(SMAⅡ型)	t	10	防護柵	m	3,760	コンクリートシール工	m2	1,765			
セメント安定処理路盤工 下層路盤(t=10cm)	m2	20,396	アスファルトコンクリート表層工(高性能Ⅱ型)	t	3,394	基礎ぐい	m	34	飛雪防止柵工	m	68			

[illegible]

 運用車線
 施工箇所
 施工済み

磐越自動車道 小松地区舗装工事			
図面の種類	施工ステップ模式図 (2)		
縮 尺	-	図面番号	/
設計社社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

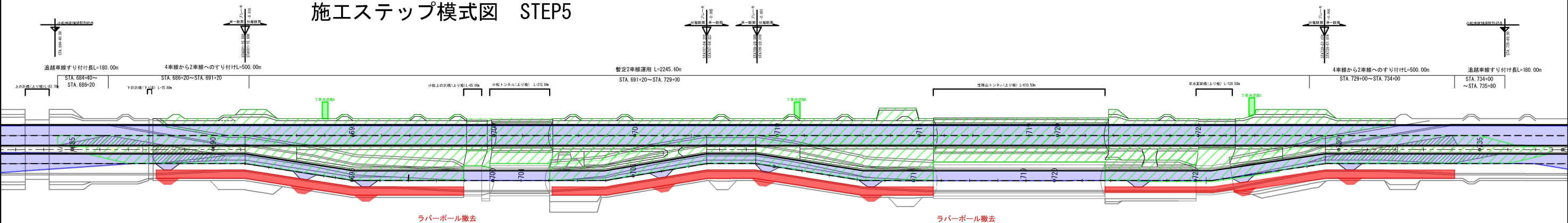
施工ステップ模式図 STEP4



概算施工数量

項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目
切削オーバーレイ工 A2(t=4cm)(Y)	m2	1,860							

施工ステップ模式図 STEP5



概算施工数量

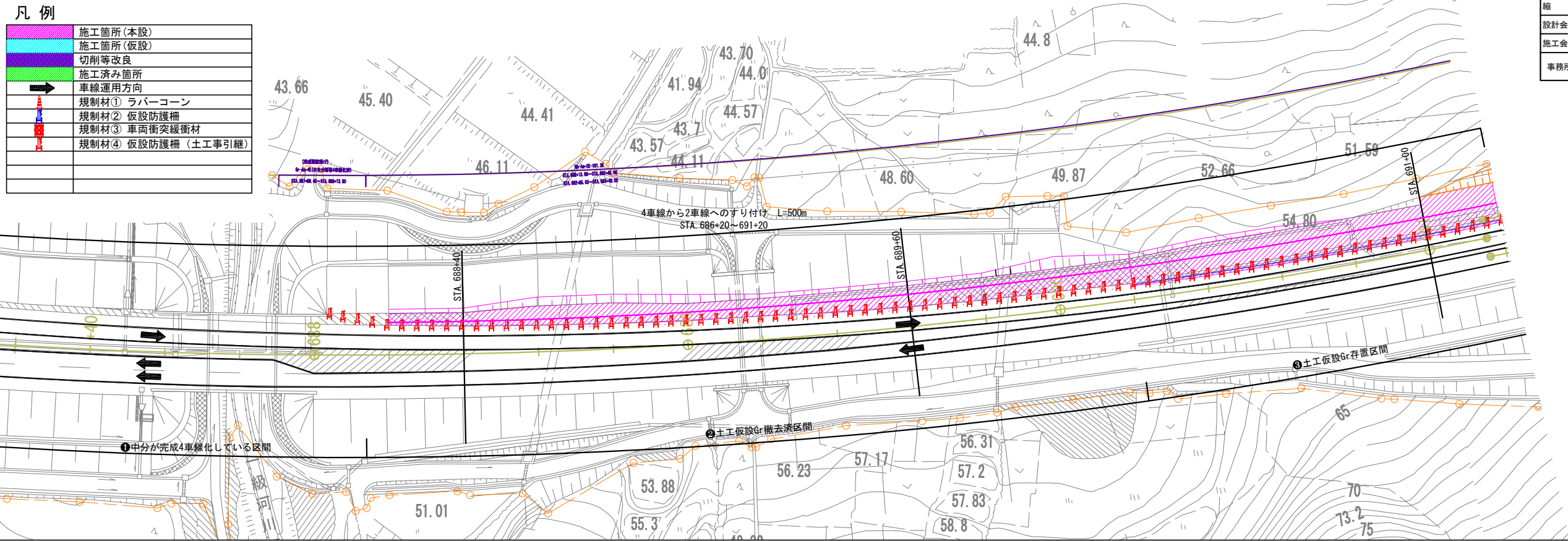
項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量	項 目	単位	数量
道路掘削 土砂 A1	m3	1,003	アスファルトコンクリート表層工(高性能Ⅱ型)	t	977	コンクリートシール工	m2	327			
盛土工 C	m3	7	防護柵	m	480	防草シート工	m2	103			
用排水溝	m3	103	立入防止柵	m	2,444	路面切削工	m2	11,227			
集水ます	m3	1	基礎ぐい	基	4	非常駐車帯工	箇所	8			
粒状路盤工 下層路盤(t=17cm)	m2	769	標識柱	基	25						
粒状路盤工 上層路盤(t=8cm)	m2	1,170	標識板	m2	7						
加熱アスファルト安定処理路盤工	t	626	視線誘導標	基	9						
アスファルトコンクリート遮水性基層工	t	612	縁石工	m	480						

凡例

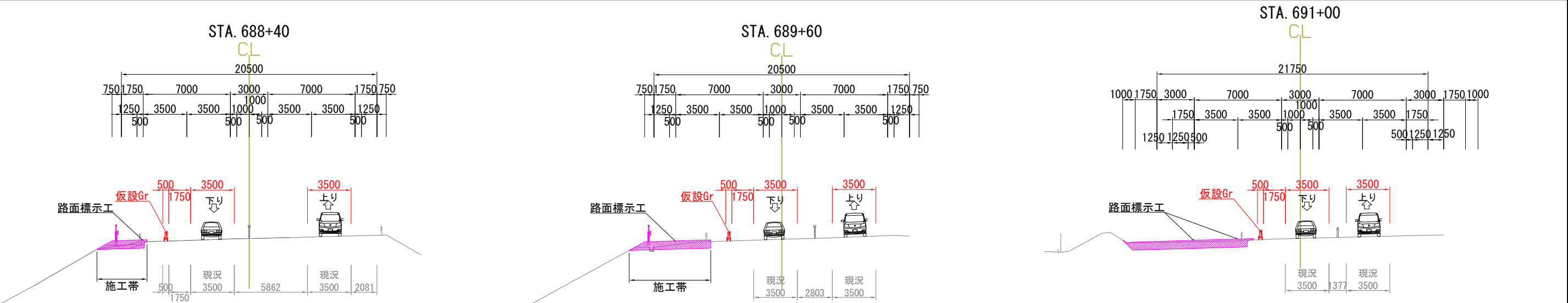


磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計		
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP0	
縮 尺	—	図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所	

平面図



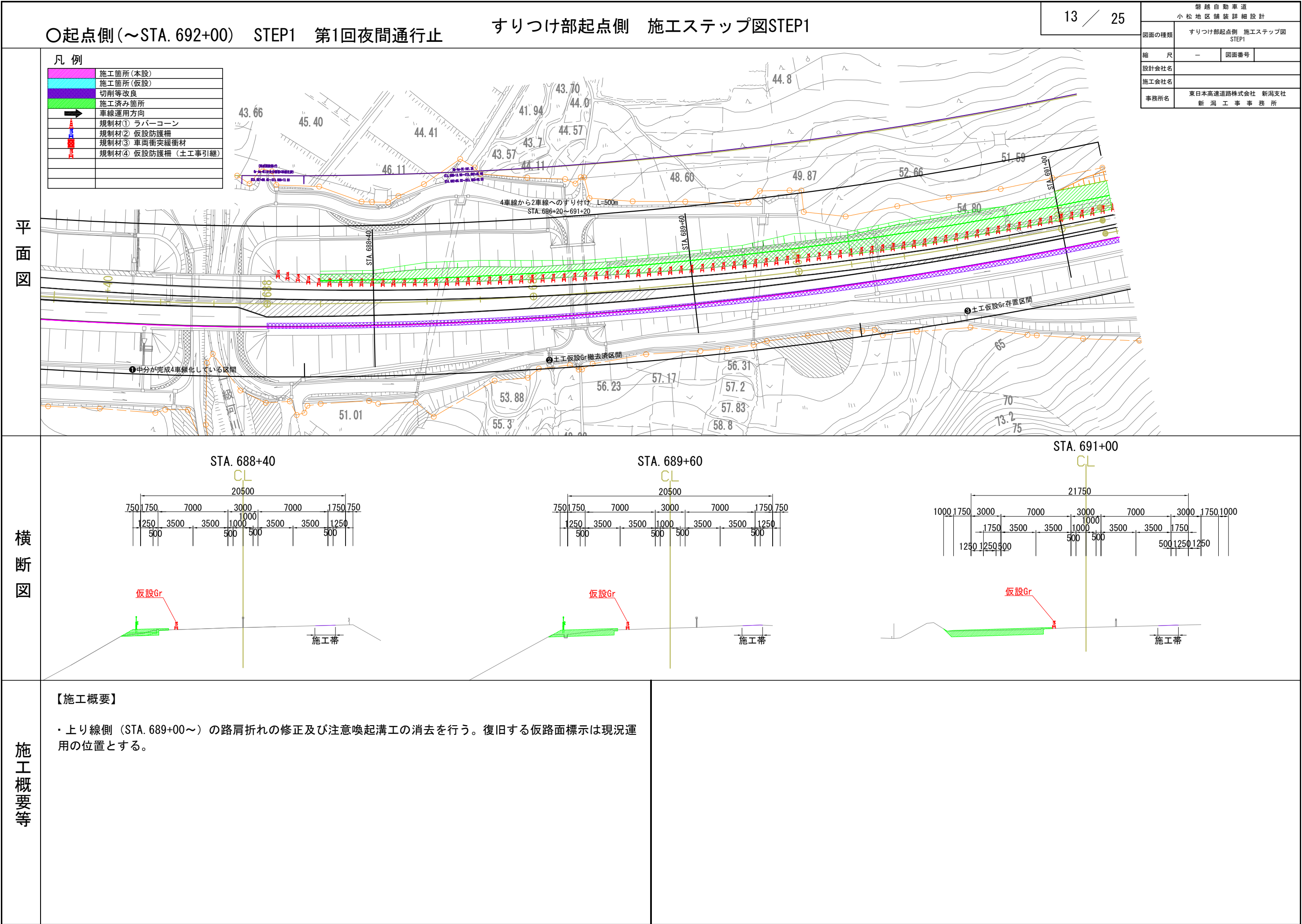
横断面図



施工概要等

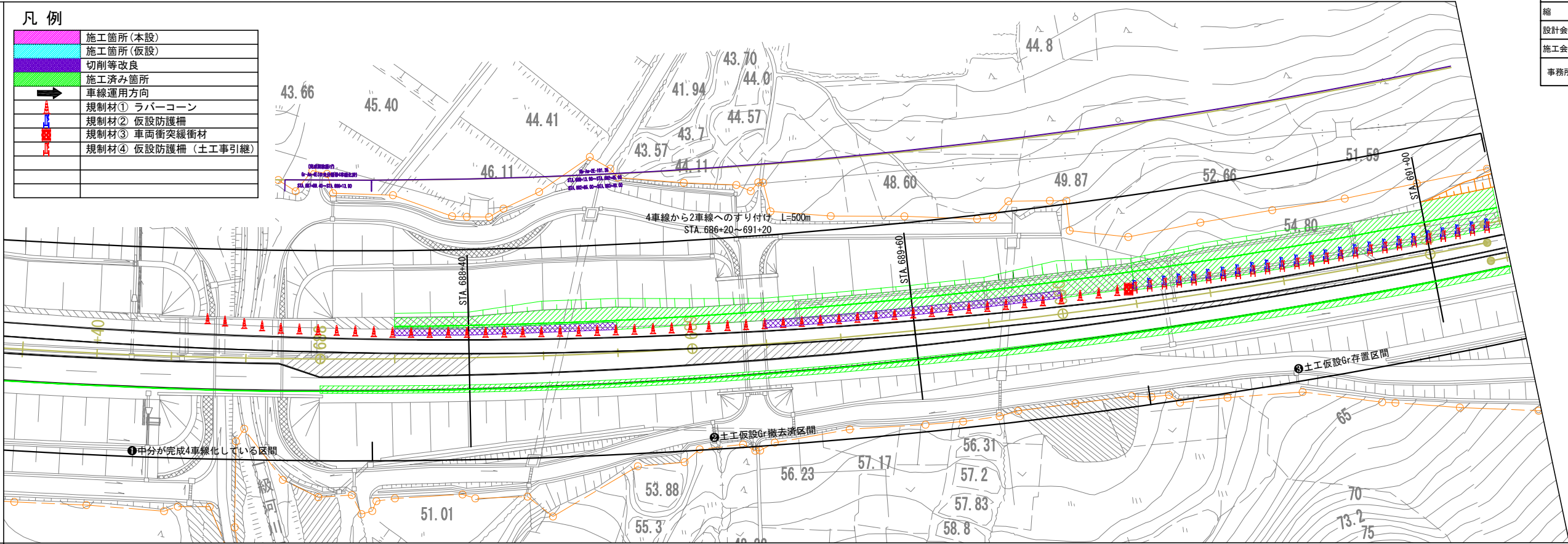
【施工概要】

・土工から引き渡される時は、現況運用で路肩W=1750を確保した位置に仮設Grが設置されている。この状態のままⅡ期線側施工可能範囲を施工する。

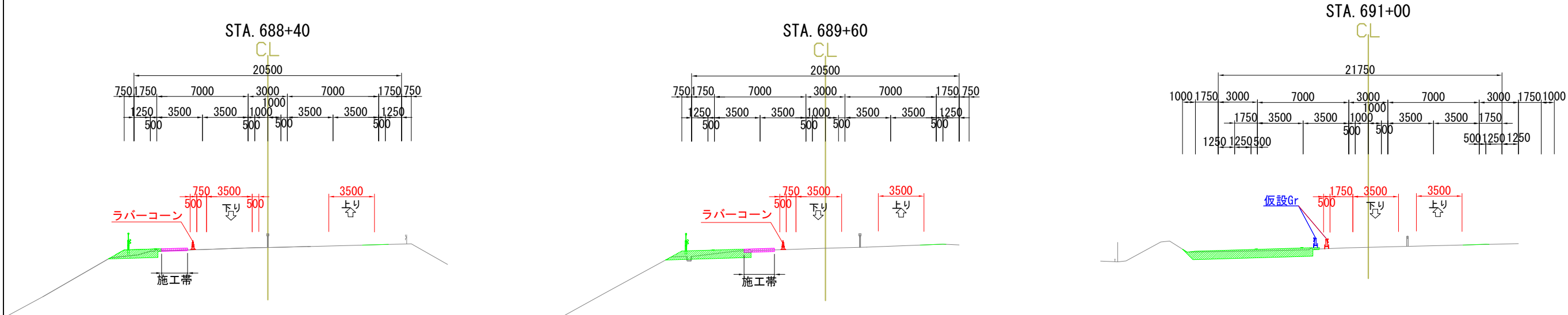


磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計			
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP2		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

平面図



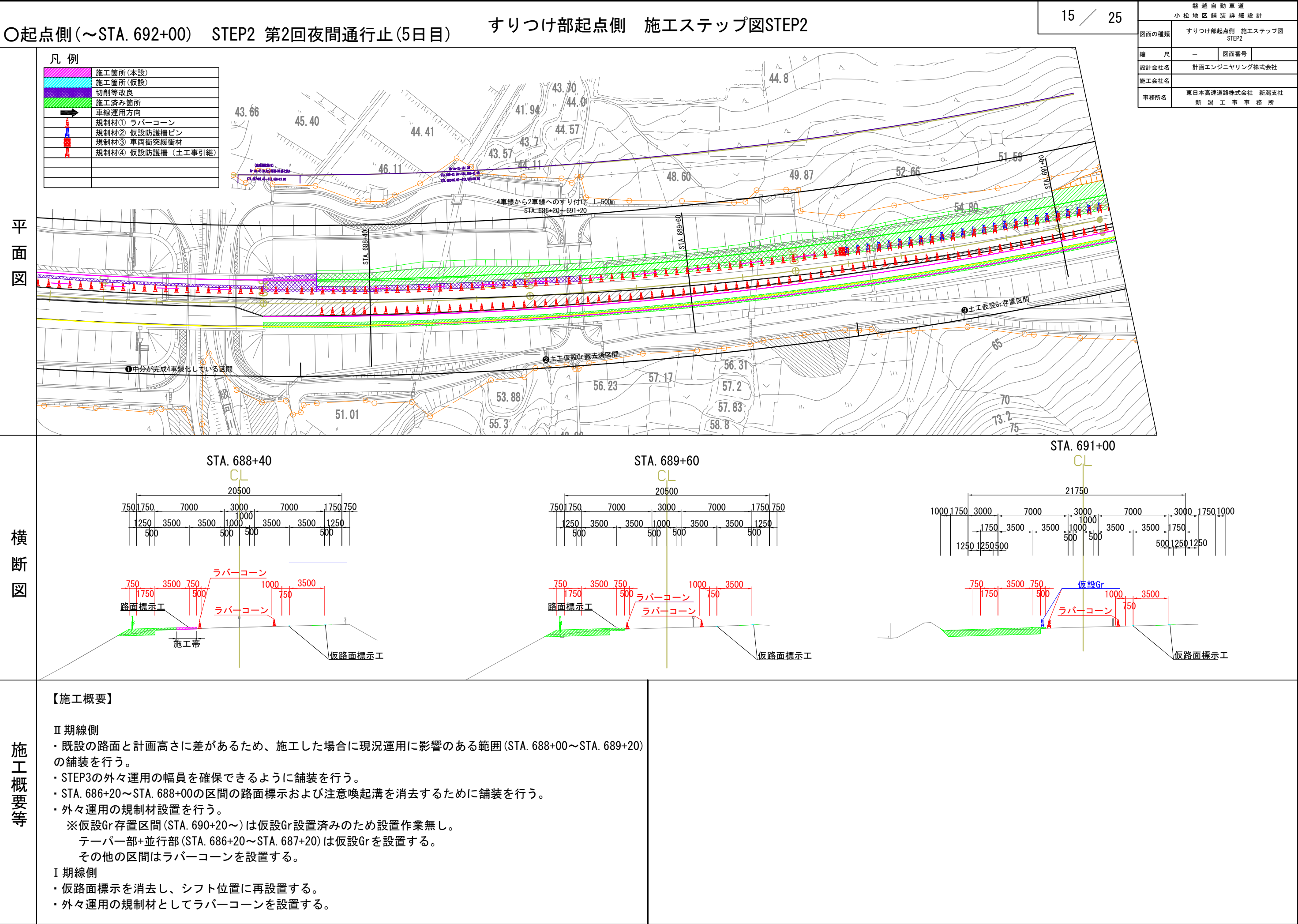
横断面図



施工概要等

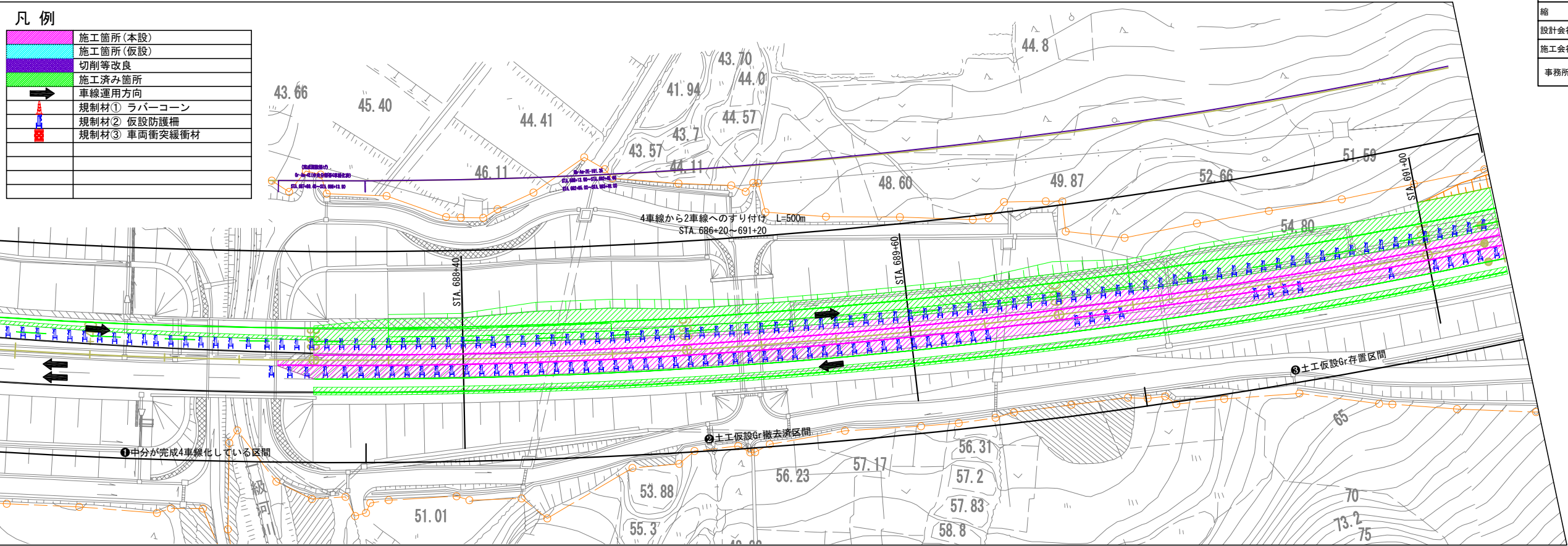
【施工概要】

- I 期線側
- ・ STEP3開始前までに外々運用前で使用する仮設Grが設置可能な範囲(STA. 690+20～)に仮設防護柵を設置する。
 - ・ すりつけ区間の仮設Grをラバーコーンに置換え、路肩幅員をW=1750からW=750に変更し、現況の運用に影響のない範囲で施工を行う。

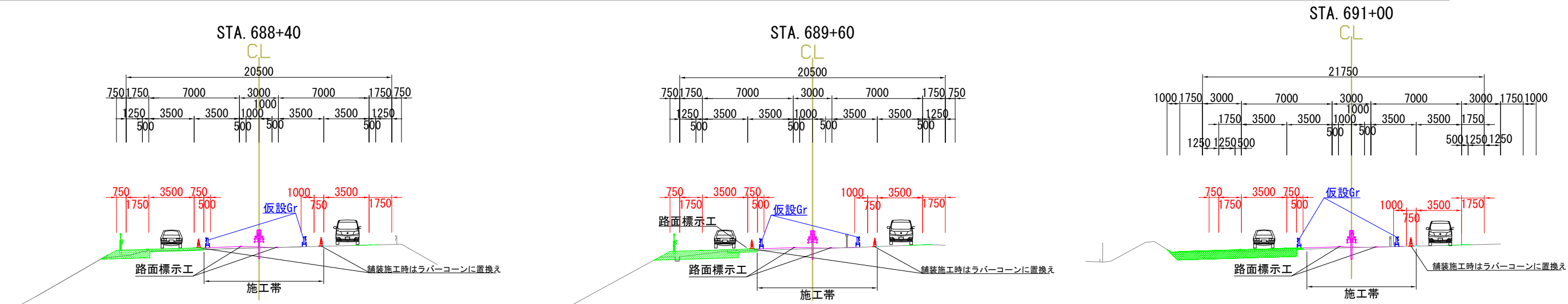


磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計			
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP3		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

平面図



横断面図



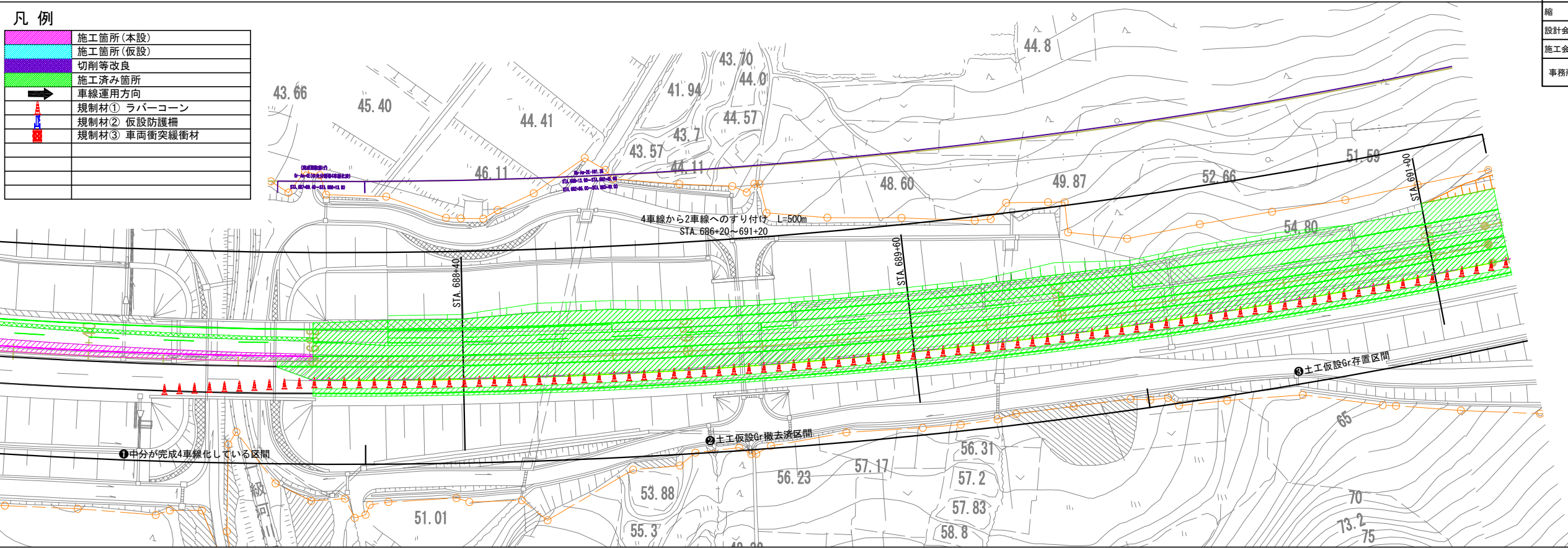
施工概要等

【施工概要】

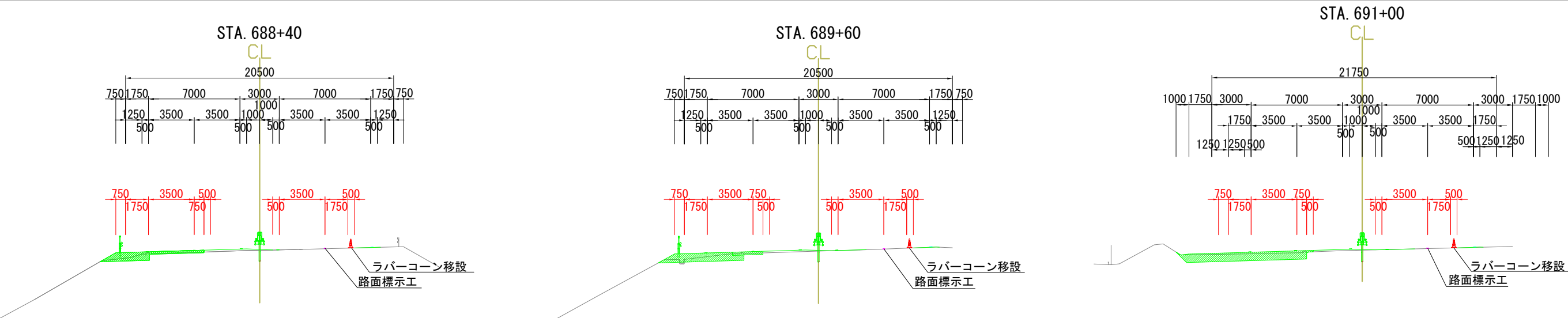
- ・ 中分側の施工を行う。
- Ⅱ期線側は完成4車線化に必要な施工を行い、Ⅰ期線側は既設ワイヤーロープの撤去および舗装を行う。
- ※仮設Gr下面が未施工の区間については、舗装施工時に仮設Grをラバーコーンに置換え、舗装完了後に仮設Grを再設置する。

磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計			
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP4		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

平面図



横断面図



施工概要等

【施工概要】

Ⅱ期線側

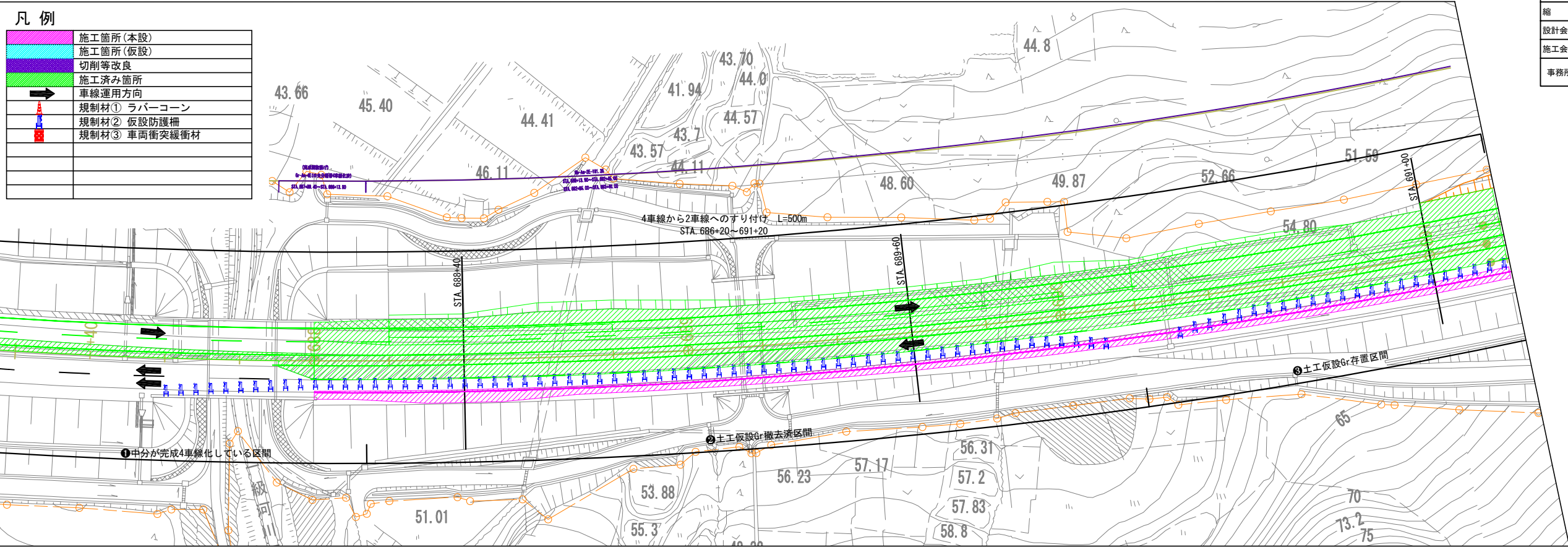
- ・ 通行止め前にテーパー部付近 (STA. 686+20～STA. 687+20) を除く範囲の仮設Grをラバーコーンに置換え、通行止め時にラバーコーンを撤去して開放し、2車線運用を開始する。
- ・ ゼブラ帯および矢印など路面標示を消去する。

Ⅰ期線側

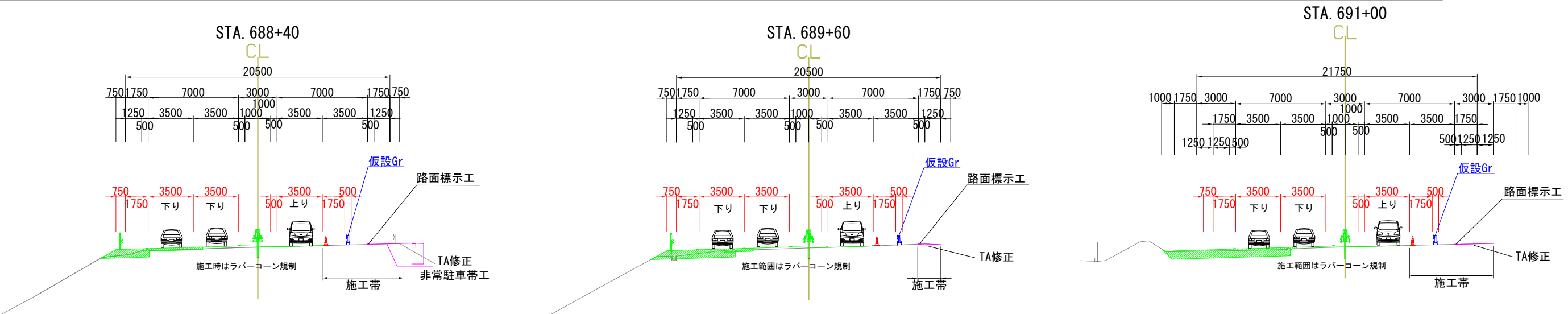
- ・ 通行止め前に仮設Grをラバーコーンに置換え、夜間通行止め時に内運用に切り替える。
- ・ 中央破線部の仮路面標示を破線に書き換える。

磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計		
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP5	
縮 尺	—	図面番号
設計会社名		
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所	

平面図



横断面図



施工概要等

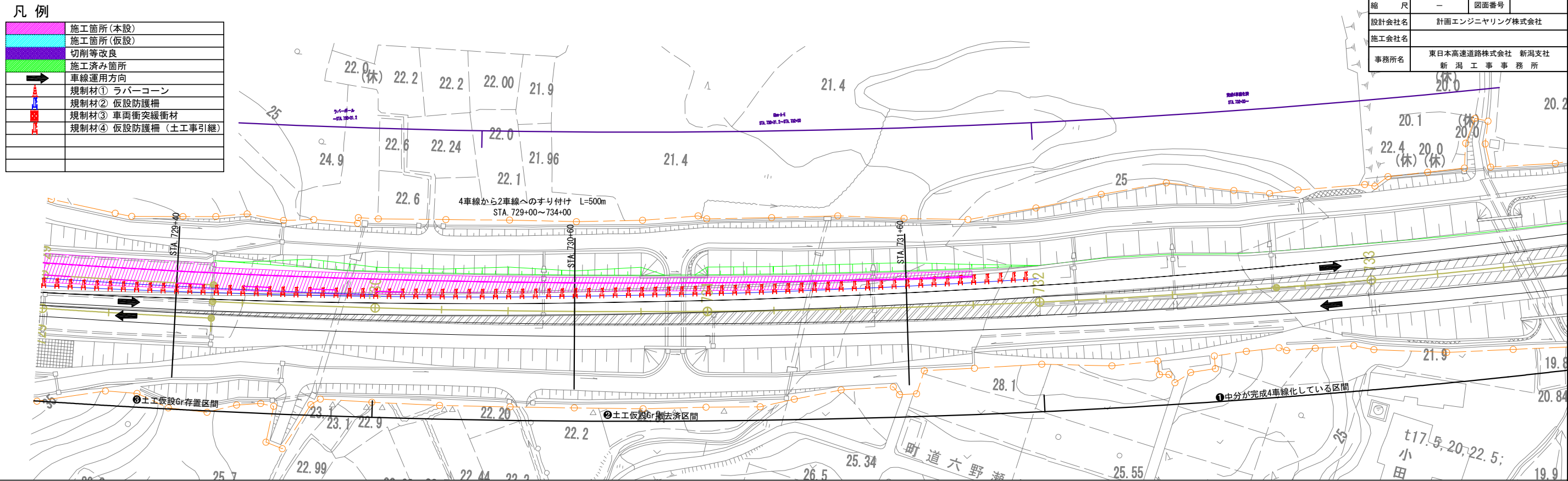
【施工概要】

I 期線側

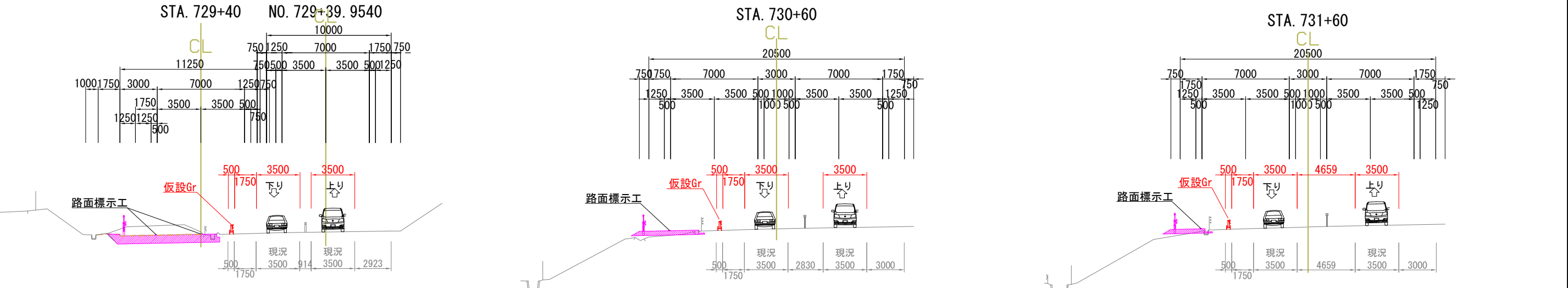
- ・ 走行車線側の施工を行い、TAの修正、非常駐車帯拡幅を行う。
- ・ STEP4で設置したラバーコーンを順次仮設Grに置換え、施工範囲毎に仮設Grをラバーコーンに置換えて施工を行う。

磐越自動車道 小松地区舗装詳細設計			
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP0		
縮 尺	—	図面番号	
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 新潟工事事務所		

平面図



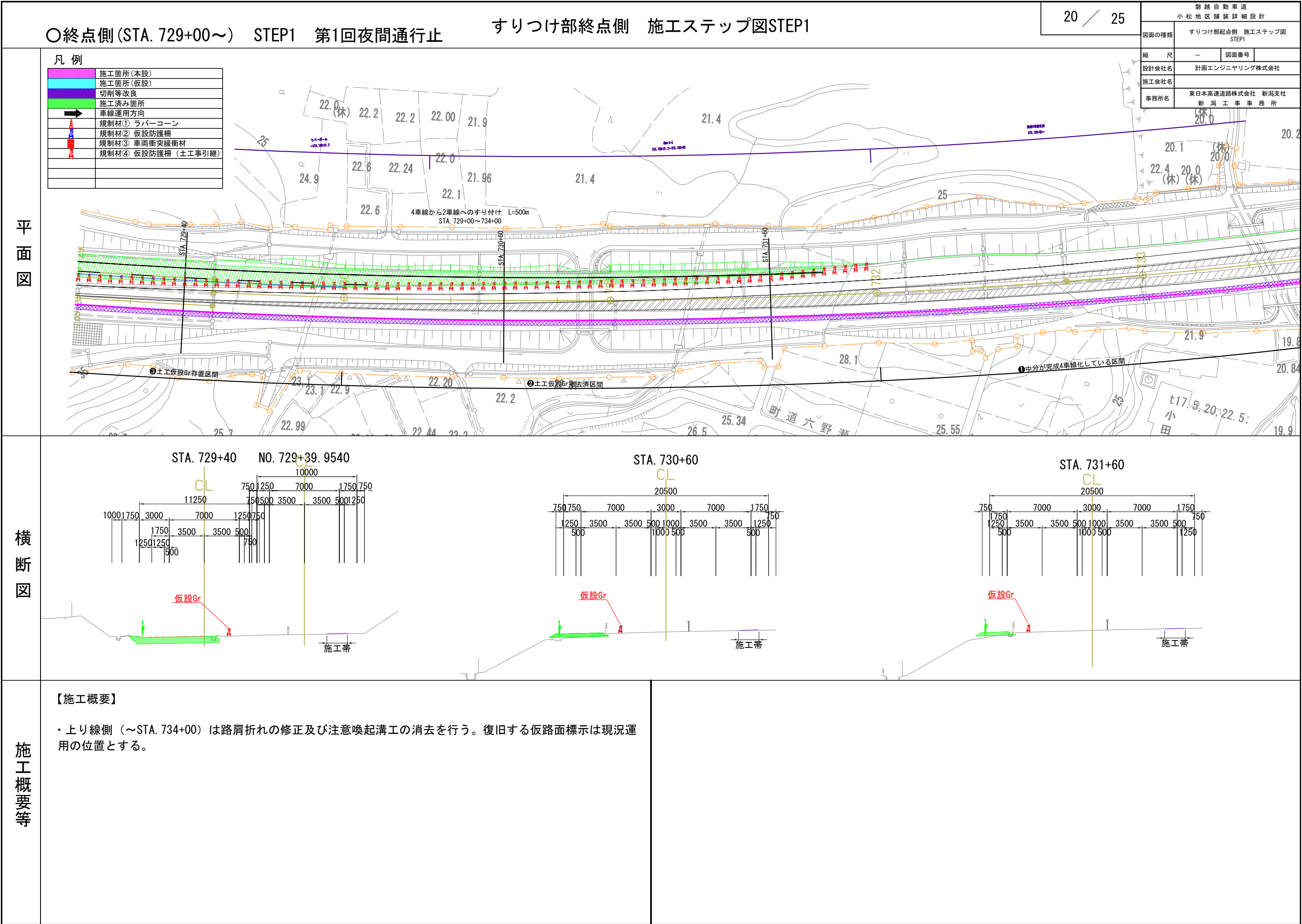
横断面図

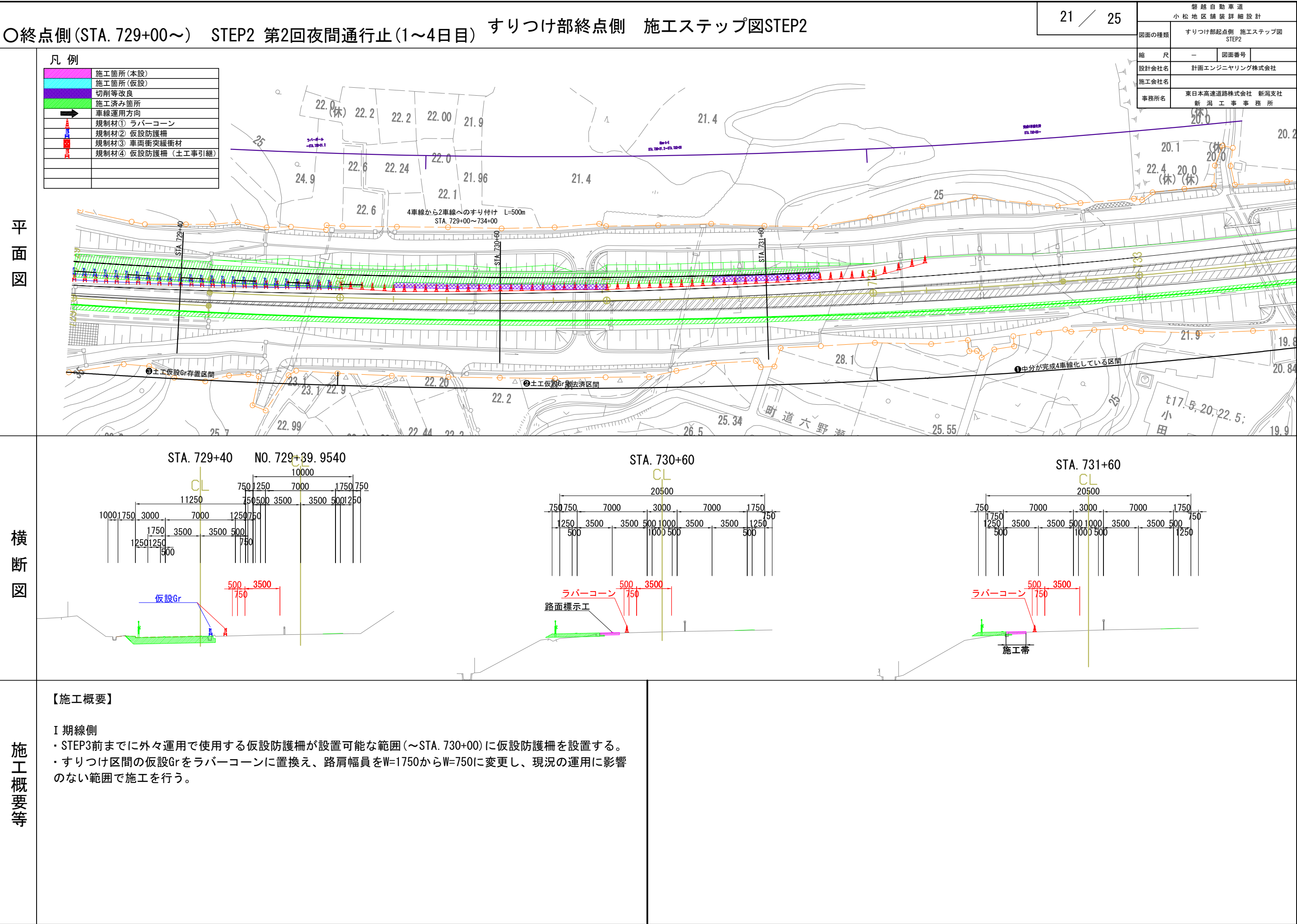


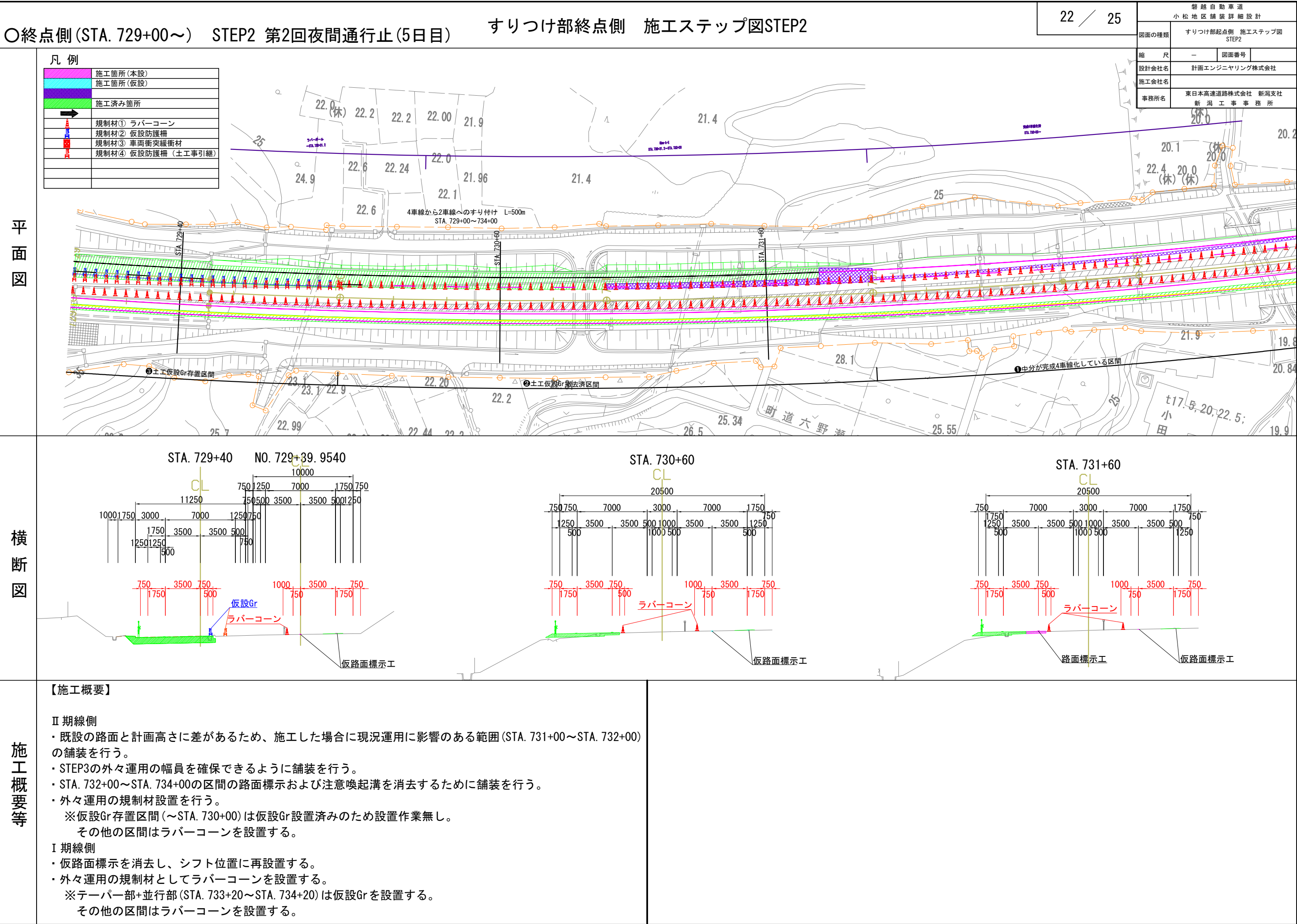
施工概要等

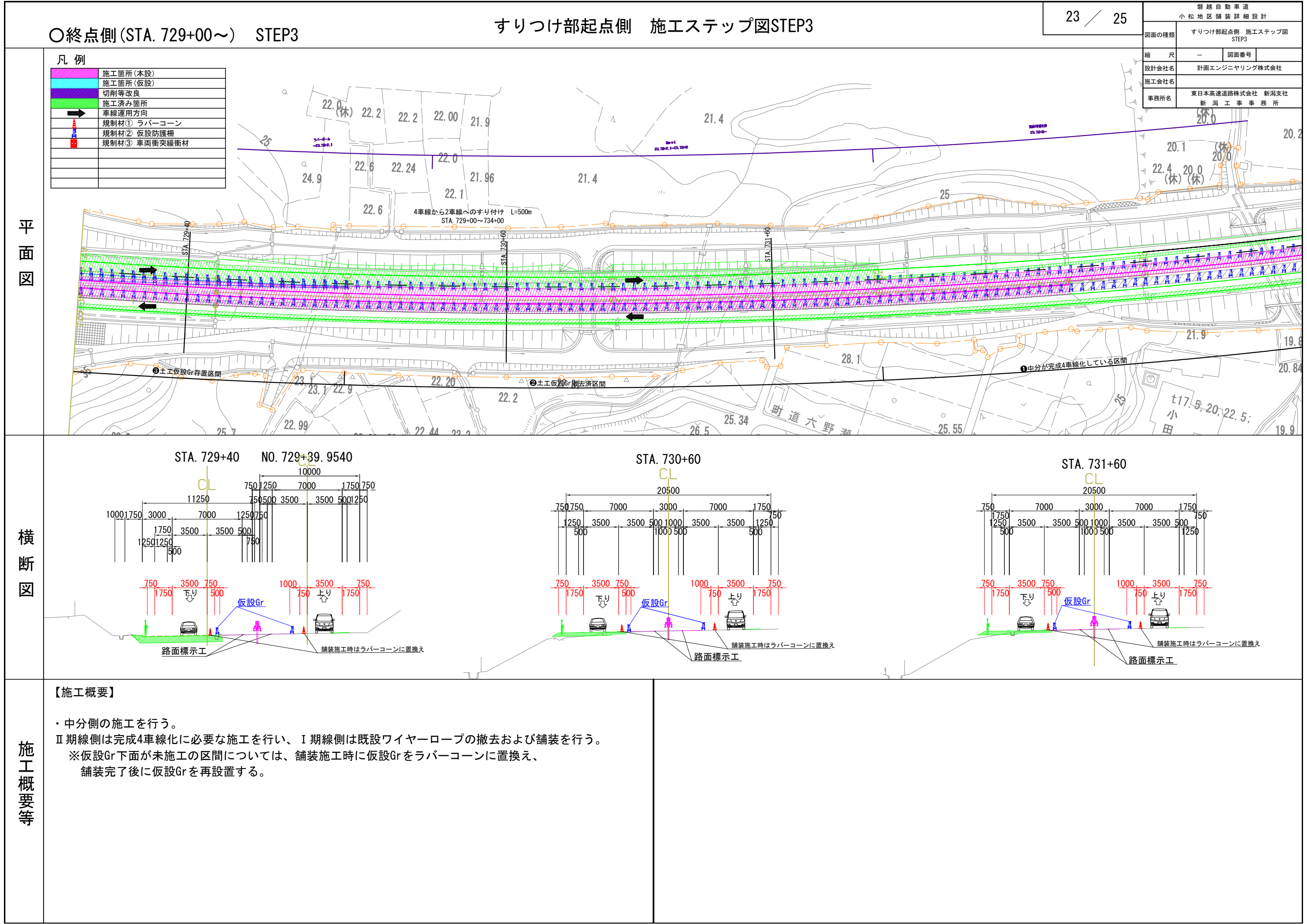
【施工概要】

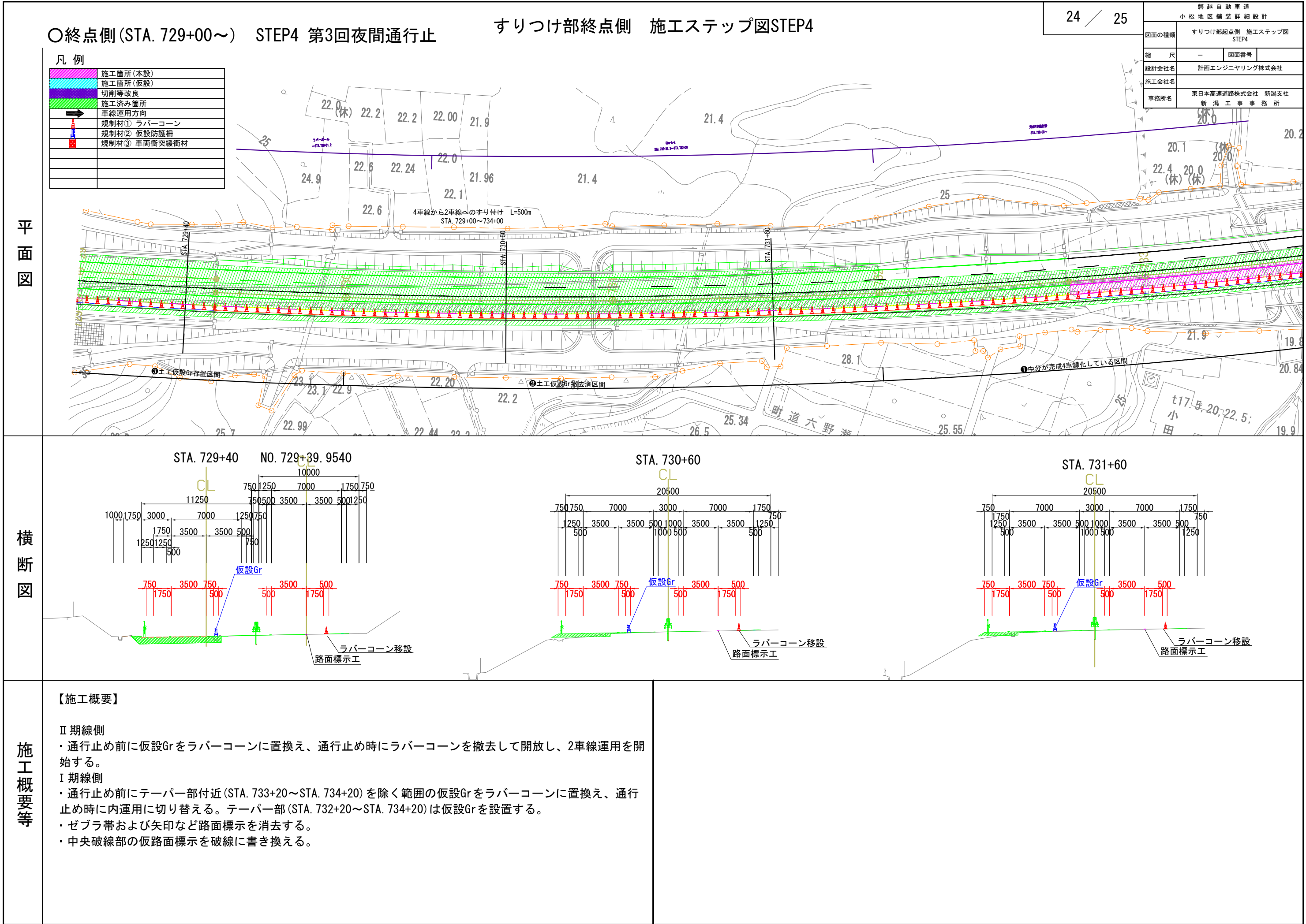
・土工から引き渡される時は、現況運用で路肩W=1750を確保した位置に仮設防護柵が設置されている。この状態のままⅡ期線側施工可能範囲を施工する。











すりつけ部終点側 施工程序図STEP5

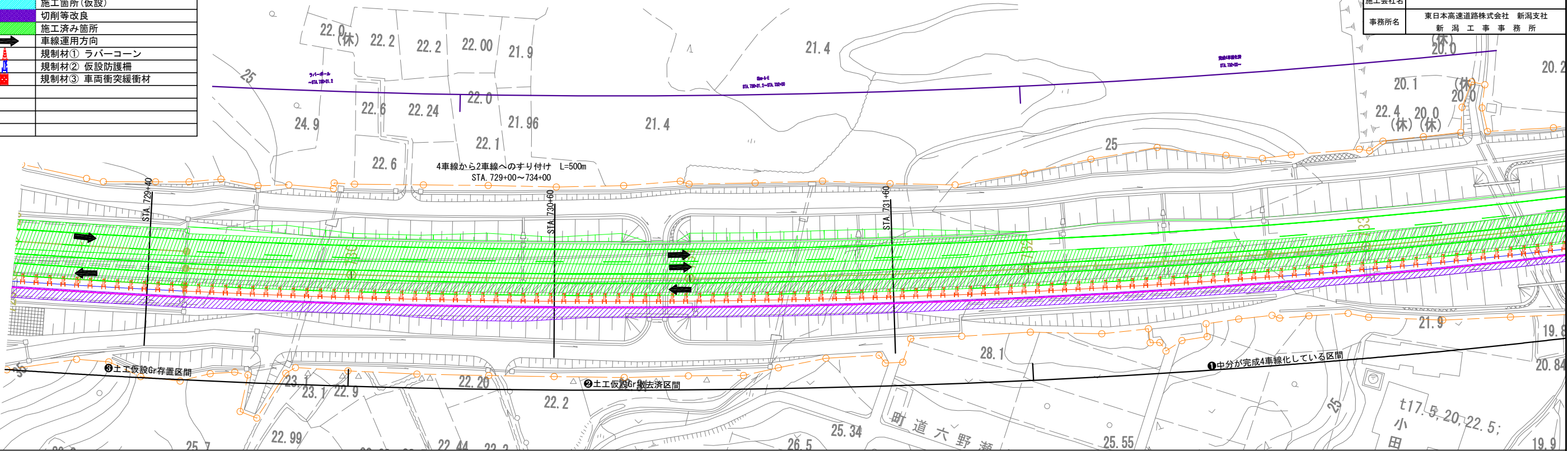
25 / 25

○終点側 (STA. 729+00～) STEP5

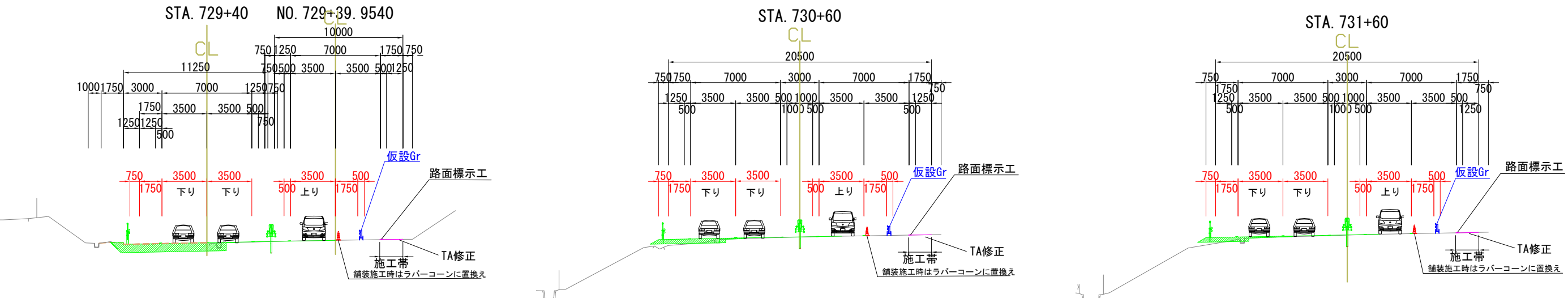
磐越自動車道	
小松地区舗装詳細設計	
図面の種類	すりつけ部起点側 施工程序図 STEP5
縮 尺	— 図面番号
設計会社名	計画エンジニアリング株式会社
施工会社名	東日本高速道路株式会社 新潟支社
事務所名	新潟工事事務所

凡 例	
	施工箇所(本設)
	施工箇所(仮設)
	切削等改良
	施工済み箇所
	車線運用方向
	規制材① ラバーコーン
	規制材② 仮設防護柵
	規制材③ 車両衝突緩衝材

平面図



横断面図



施工概要等

【施工概要】

I 期線側
・ STEP4で設置したラバーコーンを順次仮設Grに置換え、施工範囲毎に仮設Grをラバーコーンに置換えて施工を行う。